

1. 件名：「新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（高浜1、2（3、4）号炉（366）」
2. 日時：令和4年5月18日 14時00分～17時25分
3. 場所：原子力規制庁 9階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

関企画調査官、深堀上席安全審査官、鈴木主任安全審査官、伊藤安全審査官、

三好技術参与

技術基盤グループ

システム安全研究部門

山本技術研究調査官、酒井技術研究調査官

関西電力株式会社：

燃料保全グループ チーフマネジャー※ 他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

資料：解析結果の妥当性確認および考察について

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:16	はい、原子力規制庁スズキです。これから、
0:00:20	関西電力高浜 12、
0:00:24	使用済み燃料ピット。
0:00:26	ちょうど施設の設置変更に関する、
0:00:31	ヒアリングを実施します。
0:00:34	今日のヒアリングにつきましては、
0:00:38	4月28日に関西電力より、本日のヒアリング資料が、
0:00:44	提出されております。こちらについて、
0:00:48	内容我々の規制庁の方で確認した上で、
0:00:53	関西電力からしておりますので関西電力から特段、
0:00:58	説明をしておきたいというところがなければ、
0:01:02	質、事実確認のを、
0:01:07	質疑に入りたいと思いますけれども、関西電力よろしいでしょうか。
0:01:14	はい。関西電力の福原です。はい、その進め方でよろしくお願いたします。
0:01:20	はい。規制庁鈴木です。では質疑に入りたいと思います。
0:01:27	今日のヒアリング資料の内容につきましては、
0:01:32	市が、前回の審査会合を4月7日に実施した。
0:01:38	審査会合において、規制庁側から2点、大きく2点。
0:01:44	指摘をしていることに対して回答が、
0:01:48	なされるというふうに、
0:01:51	思っております。一応確認のために、
0:01:56	前回の審査会合で指摘した内容を、
0:02:03	振り返っておきます。
0:02:10	前回の審査会合資料1-1、主に、
0:02:16	2ページ、1ページ目から、
0:02:23	2ページ目にかけて、
0:02:26	のところ、ここで改正欠陥妥当性の説明が、
0:02:31	ありました。そこに対して規制庁側から、
0:02:37	指摘した内容としましては、燃料体が冠水しているときと、
0:02:43	燃料体がロスして、水位がゼロになっているとき、この二つ。
0:02:49	の条件、水位条件において、
0:02:53	実効増倍率の解析結果、これについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:58	類似の解析との比較。
0:03:01	で、妥当性が示されれば、
0:03:04	良いかと考えるということをしております。類似解析としては、
0:03:09	例えば新規制基準のときのような、の時に示した、
0:03:15	その解析結果等は、
0:03:19	許可として認めているところですので、それも類似解析として、
0:03:25	使って構わないというところです。
0:03:29	それから、
0:03:36	同じくその妥当性確認の中で、
0:03:42	水位が低下する。
0:03:44	時に実効増倍率が、
0:03:46	冠水から、燃料点露出に向かって水位が0に行くに従って実効増倍率が単調減少していくという、
0:03:55	傾向について、バックリング、
0:03:59	に基づいて、
0:04:01	関西電力から説明が、
0:04:05	あったかと思えますけれども、その
0:04:10	バックリングについては、
0:04:14	ジェリーの1254というペーパー、これに基づいて、
0:04:21	定数等を確認して改めて説明をして欲しいということ、
0:04:27	指摘しております。
0:04:29	まず、妥当性確認については、
0:04:31	大まかに2点ありました。
0:04:35	それから、もう1点は、
0:04:39	緊急時対応の頑健性のお話です。頑健性については、
0:04:46	関西電力から審査会合において、資料1-1の、
0:04:51	9ページ。
0:04:53	の説明の中で、
0:04:56	7500立米パーアワーの流量条件、ここまで頑健性があるという、
0:05:04	説明が最後ありましたので、そこについて、
0:05:08	資料、資料のまとめていただくというところを指摘したところです。
0:05:15	解析結果の妥当性と頑健性について、まとめていただいたと思いますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:22	今日のヒアリング資料の方を確認していきたいと思います。
0:05:27	まず、今日のヒアリング資料の、
0:05:36	4 ページ。
0:05:47	それから今日確認するのはまず、
0:05:52	説明資料、今日のヒアリング資料で、何が書いてあるかっていうところをまず、
0:05:59	事実確認を。
0:06:00	していくのと、それから、
0:06:03	資料の全体的な意図の確認っていうのを、総括的に、
0:06:09	やる二つのパートに分けてやりたいと思いますまずは、
0:06:12	資料の記載についての事実確認を進めていきます。
0:06:18	資料の 4 ページ目。
0:06:21	3.1. 1、
0:06:26	ここの中で、
0:06:30	二つ目の中ポツ、
0:06:33	ですねここで S F P 冠水時の、
0:06:37	実効増倍率は有限体系でも無限体系でも大きな差はないため、気相部の、
0:06:43	無限増倍増、
0:06:45	計無限大御礼. 95 とすると。
0:06:48	書いてありますけれども、
0:06:50	この 0.95 というのは、
0:06:53	今回の解析、資料でいうと、
0:07:02	3 ページ。
0:07:04	の、
0:07:05	第 1-1 図、
0:07:08	ここの、
0:07:09	燃料が関数しているときに、
0:07:14	実効増倍率がコンマ 947 と解析結果が、これは、
0:07:23	解析結果そのものですね、947 と解析結果が載っておりますけれども、
0:07:29	これを丸めたという意味なのか、それとも何か、
0:07:35	この燃料体系だとか、或いは、ラックの形状だったら、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:42	一義的に決まるような値としてコンマ 95 っていうのがあるのかこれどちらの意味なのかっていうところをまず説明をしてください。
0:07:54	関西電力原子力事業本部の新村です。そちらの数値につきましては、今おっしゃっていただいたように、今回のその解析結果、冠水時の、
0:08:04	結果を丸めて 0.95 と記載をしております。
0:08:10	規制庁鈴木です。わざわざコンマ 95 にする意味合いがどこにあるのかがちょっとよくわからなかったんですけども、コンマ 947 として扱えばいいんじゃないんでしょうか。
0:08:26	関西電力の志村です。一応今回の S C A L E というコードを使ったりですとか、
0:08:34	また、今こちらに画面の方にですね、資料を提示させていただいてるんですけども、
0:08:43	6 ページ目の第 2 表に示しますように、
0:08:50	そうですね。後、濃縮度が違っても概ね 0.95 という、
0:08:55	値にはなりますので、おおよその
0:09:01	妥当性確認という位置付けとしては 0.95 という丸めた値を今回記載したというところでございます。
0:09:09	規制庁スズキ
0:09:13	裏の濃縮度が違ってもというところは別の話だと思うので、
0:09:19	特段何も、
0:09:21	制約がなければ、
0:09:23	実際に解析結果として示されたコンマ企業 7 で説明をまとめていただきたいんですけども、いかがですか。
0:09:36	関西電力の志村です。了解いたしました。もう 1 点申し訳ございません。
0:09:42	今回はですね 0.947 にまとめるというところ。
0:09:48	で、問題ないかなとも感じております。ただ、もう 1 点ですね 0.95 という丸め値として記載したものはですね、
0:09:57	のは、今回先ほどの 0.947 というのは、
0:10:02	燃料冠水時のむゆ実効増倍率になります。今回この形、一般的な物理式を求めるにあたって、この形無限大無限増倍率を、に何かしらの値を入れないといけないんですけども、
0:10:18	こちらについては、我々

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:21	実効増倍率の値しかありませんけども、そこについては、有限でも無限でも大きな差はないってということで、丸め値少し大きめの丸め値として0.95という値を、
0:10:34	記載したものでございます。
0:10:37	また、ほぼほぼイコールということで、0.947という数字を冠水の状態として入れましたという、
0:10:46	ところいうふうに整理をしても、問題はないかと考えております。規制庁鈴木です今の説明で理解できました
0:10:54	まずう冠水状態において、有限でも無限での、どちらの体系でも大差はないけど、
0:11:03	実際に有限体系で解析したコンマ947k無限大では、
0:11:09	ないよということをお願いということですね。
0:11:15	関西電力の新村ですおっしゃる通りです。わかりました理解はできましたので、もうちょっとここ、そういう意味だということを知りやすく、記載をしていただけますでしょうかそれであればコンマ95と。
0:11:29	とりあえずしますというところについては異論はありません。
0:11:35	関西電力の志村です。了解いたしました今申し上げたことをもう少しわかるように、記載に直します。
0:11:42	ニュースってということも、
0:11:45	授業で、
0:11:49	今の資料で、
0:11:51	無限体系でも大きな差はないためって、これは要するに、無限。
0:11:56	体系では計算はしてないけども、
0:12:00	合わないだろうという、そういう推測をここで書いてるんですかそれとも、
0:12:04	ということなんですか今のお話だと。
0:12:17	関西電力の志村です
0:12:20	一応計算自体はしては、
0:12:24	こうございます。
0:12:26	ただちょっとこれまでの
0:12:29	解析としては、今、
0:12:32	必要なものではないかなということで、ご提示はございます。事業者としては確認しております。
0:12:40	要するに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:41	具体空馬これ要するに有限体系で反射体とか入れ、やってるわけです。
0:12:46	基本的にはやってるわけなんで、
0:12:49	まあ、そういう話効果、具体的な
0:12:53	反射材とかの除いて
0:12:56	アセンブリを無限体系にしたときの、
0:13:00	無限と無限配列にしたときの計算は、はしていないっていう。
0:13:07	そういうことなんですか。
0:13:10	いや、そうするとね、そういう何か数足本当に、
0:13:14	これを書くっていうこの表現がちょっと何かよくわからないことになると思いますけどね。
0:13:19	いろんな
0:13:21	事例とかそういうので、
0:13:23	角谷さんすみません関西電力新村です。衛藤、衛藤真崎ホソノ、
0:13:31	無限増倍率の計算は、一応事業者としては実施をしております、ほぼ、0.95に近い値であるということは確認をしております。
0:13:43	要するにしてやるっていうことでとにかく推測で言ってるんじゃないで、コンマ95に少し上がるのか。
0:13:51	かもしれないけど、計算はしているというのが前提じゃないと、そういう表現はちょっと変だと思うん
0:13:59	だから、やればいいんですけど。
0:14:02	するっていうそういう理解です。はい。ちょっと今手元に数字ないんですけども計算はしてございますので。はい。
0:14:13	それで、コンマ95。
0:14:16	程度になってるという、そういう、
0:14:19	理科ができればいい。
0:14:22	いうことでよろしいですか。
0:14:25	関西電力、井村です。はい。その通りです。はい。
0:14:33	すみません規制庁山本ですが、
0:14:35	今バックリングの話が出たのでちょっとコメントさせていただきます。
0:14:41	文章を見ますと文献を使ってそれで特にZ方向ですねこの辺りを出されてるんですが、
0:14:49	これ通常の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:51	いわゆる原子炉施設ではそういう、
0:14:54	このコンクリートを直接近づけるような体系でないと、
0:14:59	なので、
0:15:01	一つ、この文献に値をそのまま使っていないかというのがまず1点、問題があるのと、
0:15:07	おそらくそれを意識されてたと思うんですが、5ページの上の方には弁解が書いてあって、
0:15:13	コンクリー等は、当然
0:15:16	カトウオチ毎年よりは違うので、
0:15:20	どっちずれるかわからないけどもという感じで、ただ、傾向は変わりませんよという書き方をされていて、
0:15:25	それで第2図2-1図を見ますと、
0:15:29	その参考というのが二つあってですね、半分にしたやつと場合に点数が二つ書いてます。
0:15:33	これ見るとコンクリートどっちなのっていう何か、
0:15:36	何かさらに何か疑問が出てくるので、
0:15:39	コンクリートですねその外装距離って、多分文献を探してもないと思うんですね、そういうアマヤあんな見えなきゃいけないんですが、
0:15:48	ただ簡易的には計算は可能でして実はうちでも実は同じようなことやりました、
0:15:55	1次元のですねこれはモンテカルロはちょっと厳しいんですが、
0:15:59	1次元の加来さんから郵送で文法といてあって、それで1分割して、
0:16:06	湖西にフィッティングするとですね、綺麗に載るんです。
0:16:10	そうすると大体階層距離ってのは綺麗に出てくるので、手間かもしれませんがそれが1個あればですねこういう
0:16:17	まどろっこしというか、何かどっちなのというようなとらえ方されなくて一つの値がパッと出てくると思うんで、
0:16:24	それご検討されていかなかったというのが1点です。
0:16:28	もう1点はこれちょっと細かい指摘で恐縮なんですが、
0:16:32	このバックリングを使った式っていうのはもともと湖西分布をするという仮定が載ってまして、これ拡散係数掛け、拡散計算が十分成り立つという、
0:16:43	前提があるわけですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:45	なので漏れが余りにも多くなると、当然格差拡散計算の限度を超えてしまいますので、
0:16:51	おそらく水は、
0:16:53	例えば 30 センチとかその辺を切ってくると、
0:16:57	ちょっと怪しくなる可能性があって、
0:16:59	なので積みました 0 まで全部引かれてるんですが、本当にこれ正しいのかと厳密に言うとはですね、これちょっと正しくないんじゃないかな。
0:17:07	いうので、例えばこれ表現の問題ですけどこれは単なる傾向を見るものであってというただし書きがないと、ちょっと変なところですね。
0:17:18	疲れたりすることになるかなと思うので、ご検討いただければと思います。以上です。
0:17:31	関西電力の新村です。
0:17:34	2 点おっしゃっていただきまして、まず、つまり先に 2 点目の
0:17:44	バックリングの式というのが十分な加来さん。
0:17:49	する、女性のお客さんの
0:17:52	領域が十分にしっかりなされるぐらいの大きさに成り立つものということで、今回我々は水位が 0 という非常に、
0:18:03	はい。体系。
0:18:06	手のところまで、同じ式を使って線を引いてあると。で、
0:18:11	いうところのご指摘だったかと思えます。そちらにつきましては、
0:18:17	そうですね。
0:18:21	おっしゃっていただいたように、今回我々が確認したいのがですね、この一般的な物理式に基づく実効増倍率の挙動というのが今回の基本ケースと、この
0:18:33	FB の低下にしたがって、どんどん実効増倍率が低下していきますよということだことをまず確認をし、妥当性として確認をしたかったという目的がございますので、
0:18:45	マツイの 30 センチ以下のような非常に小さいところにつきましてはあくまで参考という形に、
0:18:54	なるというところをもう少し表現として適切に直したいと考えております。
0:19:02	もう 1、1 点目のところなんですけども、もう少し

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:09	ちょっと規制庁さんの中でご検討された内容というところを確認させていただきたいんですけども。
0:19:16	まず、
0:19:20	コンクリートの反射体が大きい水に比べておっきい方になるのか小さい方になるのかというところは、
0:19:29	今、我々、コンクリートと雨水反射を比べたときに、知見としても、コンクリート反射体の方が、実効増倍率が厳しくなる。つまり外挿距離が大きくなるというところは、
0:19:44	一応思っております。
0:19:47	大きくなると考えております。
0:19:53	が、こちらについてまた規制庁さんの方に、
0:20:00	1次元の分布を解いたということだったかと思うんですけども少しそこを教えていただけるとありがたいんですけども。
0:20:11	わかりました規制庁山本です。非常に単純なモデルでですね結局Y方向、R x バイ方向についてはもう均質というので、結局
0:20:22	角谷いうんすかね完全に均質化したものを作りまして、でも新燃料ですので、事故方向に運行もないですよ。
0:20:31	なんで、ドバツといて領域の、炉心の均一なものが、板状のものがあって、その上下にですねこれ対象にしないと
0:20:41	結局防災グループ綺麗にならないので、上下にSAコンクリートを、野瀬この場合30センチぐらいだったかな、乗せて、
0:20:50	それで1次元の、私が使ったのは、スケールなんですけどスケールの1次元のS n 計算で出して、
0:20:59	そうしますと分布が出て参りますんで当然多群の分となるとですね、答えにならないんで、
0:21:07	それを1群に全部宿泊してしまいます。そうすると、
0:21:11	非常に綺麗なコサイン分布になりますんで後は、コサイン分布能いわゆるんばクリブですか、係数のBの値とあと、
0:21:22	Z方向のあれを変数にして、これエクセル使うとできると思うんですけどソルバーを使って、
0:21:30	サイション誤差がサイションになるように、自動的にこう、
0:21:34	やってあげるとですねすぐに綺麗にまとまるはずですよ。そうすると、
0:21:38	ただ橋をずらしたナカノ5センチほど炉心の端から、
0:21:43	は、分包

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:46	の揺らぎますんでですね、例えば原子炉の炉心の高さの、
0:21:50	上と下の境界から5センチまでは無視してといたしますか、その中身の部分だけをコサイン分布に合わせて、
0:21:59	やったと、ということなんでどうしますと非常にいい制度で、
0:22:04	まとまっていますので、それで計算した結果が大体水よりも、大体2倍ぐらい大きくなったら大きくなる方向にも確認しております、それで、
0:22:14	多分、安全に書かれてる、参考のですね書ける人に近いような分布がえられるかと思う。
0:22:20	そうしていただいたら、
0:22:23	ヒダも要らん言わないもんで抜けるのかなと思った次第です。以上です。
0:22:31	あ、関西電力の新村です。
0:22:34	山尾様ご説明ありがとうございました。
0:22:39	ちょっとそちらに関しましては
0:22:44	社内でも検討さしていただくんですが1点ちょっと、一応我々としてはですね、
0:22:51	今回のこのジェリーでの試験データに基づくガイソウ距離ですね、こちら、
0:22:59	が、
0:23:00	そのまんま、
0:23:04	ピット体系に当てはまるかという、近しいあたりになるかなとは考えてはいるんですけども、厳密に言うと少し違うのかなと、そうなった時に一番今回我々がこの図でお示したかったのは、
0:23:19	その実行度合いとの挙動が、
0:23:23	基本的に単調に減少していくというところに対して、
0:23:31	ずつ一般的な物理式として、ガイソウ距離を、いろんなあたり、いろんなといたしますか入りのデータに基づいて、基づいた対応を入れたとして、
0:23:41	入れた場合の実効増倍率挙動と整合をしていると。
0:23:46	一応その反射体が株についてはコンクリートを採用しているということで、
0:23:55	その反社会が違うということ踏まえてZ方向の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:59	改装距離についてもいろいろ振らせてみても、ちょっと自体は変わらなかったと。この挙動自体が変わらないということが今回の基本、
0:24:09	ケースの妥当性確認。
0:24:12	そして御説明すべき内容かなというところで、
0:24:17	その外装距離の
0:24:19	その距離を、このセイキに間詰るということをしてもですね、妥当性確認には影響はしないのかなと。つまり、
0:24:31	実効増倍率が、
0:24:34	単調に冠水時から水ゼロに向かって単調に減少していくという傾向は変わらないということで、こちらでも会合でいただきましたコメントへの回答にはなっているのかなと考えておりますが、その点はいかがでございましょうか。
0:24:57	規制庁の三好です。
0:25:00	ちょっと今のね、
0:25:03	今のニュアンスだと、
0:25:06	やっぱり少し論点ずれてるんじゃないかなというふうに思うんですけども。
0:25:12	というのはね、
0:25:14	要するに、シバックリング式でやれば、こういう、
0:25:20	いうのは、020に向かってっていうか、水位が下がれば、こういうある程度の水位があるとあまり影響受けなくて、大体100センチ、
0:25:30	前後のところからこう水の影響を受ける、そういう傾向にはどんなシキイを、
0:25:36	どんなパラメーターでもなるわけですよ。ですからそんなにこれ自身は新しい情報を与えてないんですけども、
0:25:47	やっぱりこの、
0:25:48	やり方っていうのは、非常に定数になると、
0:25:53	先ほどの花Cもあるんだけど、
0:25:56	適用性が、
0:25:58	あるのかという。
0:26:00	その問題がやっぱりどうしても出てくるんですねそれで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:03	ここでちょっとそれと関連してこの表の中のどのの中に物量方程式に基づく評価結果でちょっとこれはどういうちょっと仰々しいのあれになってんだけど、
0:26:14	これは、
0:26:15	その前のページのばくリングを使って、
0:26:19	T A Fを求めたっていうそういう、
0:26:23	ことです。だけを言ってるんですかね。
0:26:26	(エ) 気相部のみっていうふうに書いてあるここの意味がよくわからない。
0:26:31	ですけど、これどういう意味。
0:26:35	つまりね、ちょっと誤解されてるのかもしれないけど、このT C Aの実験データっていうのは、
0:26:42	これ自身の Δ だとかそういった、そういったもの。
0:26:45	白水の微分浅はかって出してるんで、
0:26:49	いわゆる防除、
0:26:52	P C Aの実験データっていうのは、燃料棒立ててね。
0:26:56	それで、水面のあの水面以下は、水が水と燃料。
0:27:02	水面よりも上は、
0:27:05	何も無いじゃなくて燃料はあるんですよ。
0:27:07	ですからその燃料棒があるっていう効果を含んだ形で、コサイン分布に、
0:27:12	フィッティングしてるっていう、そういう状況なんだけど、
0:27:16	ここで液相部のみって書いてあるのが、
0:27:19	書いてあるところ、どういう意味なのかっていうのがちょっと、まず、
0:27:23	し過ぎてるか。
0:27:26	うん思うんですけどね。
0:27:29	なんかその辺がちょっとあるのでこの辺のちょっと表現、もし私の、
0:27:35	こちらがもう、この
0:27:38	1254のね、データが、
0:27:41	上は何もないという意味でこれ書かれてるんだったら、これちょっと修正する必要があるんじゃないかっていうのが1点。
0:27:48	もう1点はやっぱりね
0:27:54	Δ によって、ここで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:57	一律小パラメータ解析すれば、当然0のところは幅が、
0:28:02	幅というかなり差が出てくるんだけど、0のところまで、
0:28:06	うん、計算する意味はないわけですよ。
0:28:09	ウノサイズへ
0:28:11	20センチとかね、あんまりリジッドに数値言えないけども、
0:28:16	20センチ、場合によっては3、30センチぐらいかっていうのは、
0:28:21	△そのものが変わってくるんです。
0:28:25	だからそういったところについても、とにかく計算してプロットするっていうのは、誤開やっぱりミスリードするんで、
0:28:32	計算をどうしても載せた意見であれば、それ意味ないと思うんだけどもハッチングしちゃって、
0:28:40	そこはもう意味ないっていうことを明示する必要が、
0:28:44	あるんじゃないかと。
0:28:46	いうふうに思います。
0:28:48	結局12号炉のデータっていうのは、
0:28:53	水が40センチ以上でのデータをベースにやってるんで、
0:28:58	それ以下の、30っていうのもかなり、
0:29:01	扁平の炉心なんでね。
0:29:04	現在自身も変わってくる。
0:29:07	こういうコサイン分布にフィッティングすると。
0:29:10	やっぱそのものが持たなくなってくる。
0:29:13	ここは十分考えられるので、
0:29:16	もう本当にこれ30以下とか、
0:29:18	そのようなところはもう、
0:29:22	あんまりそこを議論ん。
0:29:25	してもしょうがないし、できないっていうことが一つと。
0:29:28	あと問題は、やっぱりその、
0:29:31	実際の計算に対して、
0:29:33	その△を変えたときにどのぐらい影響するのかっていう話。
0:29:38	なるので、
0:29:39	昆の場合は、2分の1とか2倍とか、結構広げて、
0:29:44	やってるわけですけど当然それでも、
0:29:47	仮に20センチとか30センチのところでも、
0:29:51	差が出てきてるわけですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:53	0ほど変わらんなぞるみてもしょうがないと思ったんだけど、ちょっと30センチぐらいの、
0:29:59	この20センチなり30センチのところでも、
0:30:02	やっぱり
0:30:04	そのベルトの与え方で、有意な差は出てますよね。この
0:30:10	そうすると、
0:30:12	あそこで何を言うかっていう話で、
0:30:15	単にバイトが半分にしても傾向変わりませんよと、おそらく傾向は変わらないの模式見ればわかる。
0:30:22	そういうことじゃなくて、
0:30:24	今現現状
0:30:27	ピー・シー・エーのデータをベースにするのであれば、これはさっき言ったように、
0:30:32	水の上の燃料は含んでるということで、それと、あと実際の測定は40センチ以上でやってると。
0:30:39	ということで、あと、
0:30:42	ピー・シー・エーの条件と、今回のフクイの条件考えると、
0:30:47	FFPの方が、
0:30:49	下部には下のコンクリートがついてる。
0:30:52	上部は、
0:30:54	燃料棒建てるだけじゃなくて、
0:30:57	水分も多いと。
0:30:59	ということなんで、
0:31:01	△自身はこのTCAの、
0:31:03	データよりも、
0:31:05	△応急方向になってるっていう。
0:31:08	ことは、
0:31:10	いえるもんいえると思うんです。
0:31:12	ですからそういう意味でね、素行の△求めるのはさっき言ったように1次元でやるっていうことをすれば
0:31:20	する必要もないんだけど、
0:31:22	このピー・シー・エーの△に対して、少し、例えば1点、
0:31:27	2とかね1.5歳とかね、要するに増えた方向で、
0:31:31	実際にその計算したケースに対して、どの程度、
0:31:35	近づくのかっていう、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:38	それから、それとの差が少なくなってくるのかっていう。
0:31:42	やっぱりその辺もう少し、
0:31:44	視野に入れた説明を、
0:31:46	した方がいいんじゃないかというふうに私は思います。
0:31:50	半分になるっていうこと自身はその反射条件考えればそんなようなことはあんまり考えなくてもいいし、
0:31:57	どちらかという増えたときにどの程度感度があるのかっていうことで、
0:32:02	ある程度ふやしていくと。
0:32:04	計算値に対して近づいてくる。
0:32:07	実際はもうそういうね、
0:32:10	このピー・シー・エーのデータをベースに、このモデルでやるっていうことは、
0:32:16	今問題になってる気相部について水分がない、ないのが実際のSFPのあれ、あるのが、SFPなんでね。
0:32:24	当然過小評価。
0:32:27	その意味では過小評価の、
0:32:29	線にしかならないのは自明なんで、
0:32:33	それを、
0:32:35	を前提にして、
0:32:37	謡がさっき言ったような反射条件としては、
0:32:40	ルートがない方向の、
0:32:42	条件になってるわけだから、
0:32:44	その辺を少し、
0:32:46	もしね布団ガイソウ橋梁を変えるのであれば、そこをふやしてって、
0:32:51	それでふやしたって
0:32:54	実際のケースにはならないわけですけどね。
0:32:59	それは要するに、
0:33:00	上の、
0:33:02	方に水分を含んでる。
0:33:05	そもそも、
0:33:06	うん。
0:33:06	モデルがモデルとか条件が違うわけね。
0:33:09	その辺も少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:11	見える、
0:33:14	形のグラフに質問する必要があるんじゃないかというふうに、
0:33:21	関西電力の福原です。ちょっとお時間いただけますかすみません。
0:34:10	はい。関西電力の福原です。ご説明ありがとうございました。今、この資料のですね、今日の資料の5ページ目に図の2-1ということでグラフを載せておりますけども、このように
0:34:28	我々の今回の基本定数やったり物理方程式が同じように水位が下がるにつれて左方下がりになってますよという、
0:34:38	程度と言うとあれですけど、の妥当性確認ではなくて、もう少し定量的に、それぞれ過程を
0:34:50	千賀日一致する。
0:34:53	定量感まで示すべしというふうに今受け取ったんですけども、ある意味、何らかの仮定を置きながらにはなるんでしょうけども、そういう確認をが必要だということでしょうか。
0:35:13	ニュースです。と一致するところまでパラメーターをコーン調整。
0:35:17	調整を。
0:35:21	行って行ってスルーようにそのパラメーターを合わせるという必要はないと思いますもともと、
0:35:27	一致しないもんなんでね。
0:35:30	ですから、だから結局は
0:35:34	今のこのピー・シー・エーでの△なりを得るために、権限は別にして△な連上、そういったものをベースにして、
0:35:43	比較視点で、
0:35:45	今のSFPの、
0:35:47	モデルとイシイのモデルっていうかそれは違うんでね、別にそれを無理無理、△で調整して合わせる必要はないと思います。ただ、
0:35:58	要するに△について、
0:36:00	確実性フジタつSFPの方は、これよりも大きい。
0:36:06	ことになると思うので、それを、
0:36:09	変えたときにどの程度、
0:36:13	今のものが持ち上がってくるかと。
0:36:16	いう、その辺の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:19	あるソフトの範囲での感動がわかるような、
0:36:23	戦後、
0:36:25	加えればいいんじゃないかという、私はこの程度でいいんじゃないかという、
0:36:35	はい。関西電力の福原です。
0:36:38	今日のこの資料で言うところの売り方程式に基づく評価結果っていうものがありますと、それに対して、基本ケースが上にあるわけですけども、それが
0:36:55	それぞれの実際の実験棟今回のITの会計において置いてる前提の違いの分ぐらい、
0:37:07	が
0:37:08	ピットの方が上に出てますよというようなことを説明すべしというそういった意味ですかね。
0:37:21	ちょっと
0:37:23	求められている命題が少し掴み切れていないっていうのが正直なところなんですけども。
0:37:40	出ますよね。
0:40:34	規制庁スズキです。
0:40:36	ここまでののはなCを、
0:40:40	はい、規制庁スズキです。ここまでの話を、
0:40:44	まとめるとですね、
0:40:47	まず資料の体裁から言いますと、
0:40:50	4 ページの一つ目の中ポツの一行目のところここは、
0:40:57	イリエ 1254。
0:41:00	のバックリングのデータを、
0:41:03	使うということに関して、正しく記載をして欲しいというところはまずミヨシから申し上げたところです。基礎部分はボイドになってるわけじゃなくって、
0:41:14	燃料ピンがちゃんと立ってるんですよということですね。
0:41:18	それから5 ページの2 行目、2 段落目ですね。
0:41:23	なお書きで書いてあるので、我々としては、なお書きじゃなくてちゃんと結論を示すような、
0:41:31	書き方をしていただきたいんですけども、ここの部分は、
0:41:36	例えば第2-1 図の丸、これはあくまでもイリエ 1254 のバックリングデータに基づいて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:45	計算したものですという判例を示した上で、
0:41:49	実際のSFPの体系においては、これより、
0:41:54	ガイソウ距離が伸びるはずだというような何かしらの考察一つのやり方としては山元が言ったような、
0:42:01	拡散方程式で1群に縮約して確認してみるっていうやり方もあるよねっていうようなこと言いましたけれどもそこは
0:42:09	事業者としてどういうふうに考えて、そこを考え、検討するかっていうところ。
0:42:15	だと思いますけれどもそれによって、
0:42:17	最後の結論の仕方としては一致したってところまで持っていくのかそれとも、
0:42:24	傾向がまず単調減少であること。
0:42:27	に対して、
0:42:30	その傾向がどのぐらいの感度がバックリングであるのかっていうようなところを見た上で、それほどおかしくない結果になってるんだってことを、
0:42:40	定性的に言うということでもいいのかなというふうには思いました。
0:42:46	それから第2-1図そのものは
0:42:52	イリエー1254。
0:42:53	それに基づいた、
0:42:55	マーク0を期す以上はそれに基づく、
0:43:00	バックリングの上ソウダとかっていう持ってくる場合には
0:43:05	水の範囲は、適用できるところの範囲で書いてくださいと。
0:43:11	そういうことかなと思いますけれども、関西電力、ここまでの
0:43:19	内容についてご理解いただけただけでしょうか。
0:43:31	あ、関西電力福原です少々お時間ください。
0:44:34	はい。関西電力の福原です。
0:44:39	はい。台形理解できたと思ってちょっと確認なんですけども、この図の2-1、基本ケースと、Agileのケースを重ね書きするわけなんですけども、その時に、
0:44:55	当然、ピットの条件等ベース前提上体系自体が違うので
0:45:03	左肩下がりになるというのは当たり前だとしても、その前、それぞれで計算に置いているもともとの体系の条件自体が違う部分

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	が、その結果として現れてくるはずだと、その表れている部分が、条件の違いと概ね
0:45:21	妥当な違い方になっていると、いうことを研究しつつ、言及すると、こういうことかなというふうに理解して当然まずは
0:45:34	0 先陣ところまで延ばすわけではなくてジェリーK o c a e l i で限定してるところまでのプロットに限定するということころはもちろんだとしても、
0:45:44	大体そういうふうに理解したんですけども合ってますでしょうか。
0:45:50	はい規制庁スズキです。概ねそれでいいと思いますここで、
0:45:54	5 ページの 2 段落目のところと言わなきゃいけないっていうことは、
0:46:00	最もらしいような、何かしら比較対象もしくはデータに基づいて、
0:46:08	基本ケースのこの単調減少している様、それからおオチ方がこの程度であるというところについて、
0:46:18	妥当性を確認できるということが必要ですので、
0:46:22	何かこう、空想的なものと比較して大体合ってるねっていうことを言いたいわけじゃなくて、
0:46:29	比較するものが大体、物理学的に、
0:46:33	説明できる確からしいものだというものと比較しても基本ケースっていうのがおかしくないんだということを説明し切って欲しいと、そういう趣旨ですので、
0:46:44	その辺を、
0:46:46	くみ取った上で、最終的にどういうふうにこのガイソウ距離の検討をされるとかっていうところは、関西電力自身で考えていただいて、まとめていただければいいと思います。
0:46:59	よろしいでしょうか。
0:47:01	はい。浅井電力フクハラです。了解いたしました。
0:47:05	規制庁スズキそその上でですねちょっと資料の記載について、
0:47:11	同じところをもう 1 点だけ。
0:47:14	聞きたいんですけども、
0:47:17	4 ページの、
0:47:19	最終行のところ、
0:47:23	5、5 ページ目の一行目まで括弧書きが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:26	あるんですけども、
0:47:28	最終的にて水の形エフェクトは約0.8以下にならないというよう な、
0:47:35	何か説明があるんですがまず、これが意味がよくわからなくて、 なぜこんなことを書いたのかっていう。
0:47:42	ことと、今
0:47:45	ミヨシとかヤマモトからいろいろご指摘して、させていただい た。
0:47:49	内容を踏まえるとこの括弧書きはもう関係ないということであれ ばとっていただきたいということですけども、もう、ここ、関 西電力として説明をお願いします。
0:48:04	関西電力の
0:48:07	金。
0:48:09	いえ、短いパート、
0:48:12	関西電力の新村です。こちら括弧書きの意図はですね、今回その4 ページ目、
0:48:19	で、実施した、この物理方程式に基づく、この
0:48:25	実行度合い、下ごめんなさい、増減増加率を計算する際に、気相 部の存在を無視して、つまり、
0:48:33	気相部、
0:48:35	液相部の上には
0:48:38	燃料は存在総務部自体もないというような形で算出をしておいま す。
0:48:46	一方で
0:48:48	基本係数というケースは水位が低下しますけど、その液相部の上 には気相部があって、気相部にはその一定量の水分と燃料がいろ と。
0:48:58	ということでございますので、今回の物理方程式の値と比較する と、
0:49:07	気相部に水と燃料がいる分、基本ケースの値より0.803という値 よりも、
0:49:16	今回
0:49:17	気相部の存在を無視して計算した物理式との辻野、実効増倍率よ りは小さくなりますよということを、池記載したものでございま す。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:33	規制庁スズキです当初、何を言いたかったかっていうところは、
0:49:38	理解はしたんですけれども、先ほどの、
0:49:42	結局、ガイソウ距離について、入りの1254とそれから実機の体系での違いというところを検討するに当たって、その部分が、
0:49:55	関係なくなってくるのであれば、括弧の中の表記は、
0:50:01	いらないのかなっていうふうにならなかつたんですけども、もしこれ残す必要があるということであれば、しっかりここが意味がある。
0:50:11	記載として結論に結びつくような記載に取り込んでいただきたいんですけども、そこはまずお任せしますので、
0:50:20	よくここも検討した上で、記載を残すのが残さないかも、考えてください。よろしいでしょうか。
0:50:29	関西電力の福原です。ここの学校内の地裁の残す残さない、修正するしないも含めてですね、適切に対応させていただきます。
0:50:41	規制庁鈴木ですよろしくお願いします。では続いて、
0:50:45	資料の内容について確認をしていきます。6ページ。
0:50:51	の、
0:50:53	第2表ですね。
0:50:57	第2条の注釈で、※1が、
0:51:02	の、
0:51:03	に書いてある内容が、理解できないんですけども、
0:51:08	この一部の水溝における実効増がイデない会社による、より求めるという意味は具体的に、
0:51:17	どの欄のどどのデータについて、
0:51:21	何か内外挿したのかっていう、
0:51:24	ことを説明をちょっとしていただきたいんですけど。
0:51:45	関西電力の新村です。この注釈1の意味はですね、今回この第2条のところに、
0:51:54	加来泉木曾殿での実効増倍率というのを記載をしているんですけども、この表のうち、実際に解析した点等、解析自体は行方。
0:52:07	おらずですね、解析、解析をした。
0:52:11	A M E D水の点での実効増倍率感を内外そうした値に記載しているものがあるという意味でございます。
0:52:22	規制庁鈴木です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:25	内装の意味が、例えば理論的とか半経験的にですね、こういう内装すればいいということがわかっている上で、
0:52:35	前後のデータで内挿することについては意味があると思いますので、そういう内挿したということについて、
0:52:42	ということであれば異論はないです。
0:52:44	一方で、
0:52:46	ガイソウって、
0:52:47	そもそも、
0:52:49	物理学的には何の意味も成さなくて、
0:52:56	それ、その外挿する理由が或いはしなきゃいけないデータが何かあるんであれば、
0:53:04	そもそもそれを特定する。
0:53:06	例えば計算をしたりだとか、
0:53:09	しなきゃならないと思うんですけども、
0:53:13	なぜ外挿する必要があるか、その外挿点の意味は何なのかっていうところをちょっと、
0:53:22	具体的にガイソウした。
0:53:24	天願、どのデータなのかも含めて、
0:53:28	説明をしてください。
0:53:40	関西電力の新村です。まず、ガイソウした点につきましては、1点でございまして、類似解析②の
0:53:50	水密度ゼロのところでございます。
0:53:55	この0.601という実効増倍率が、
0:54:00	そんなに外挿失礼しました。そうした点でございます。
0:54:05	ほかの点につきましては、
0:54:10	外挿ガイソウではなく、解析値の解析点の間をとる内装というところで一部、求めた点がございます。
0:54:26	規制庁スズキすみません
0:54:28	類似解析②の、
0:54:31	水密度0グラムパー立法センチの、実効増倍率、コンマ601を外挿した。
0:54:40	という説明ありましたけれども、これがどういう意味合いで、なぜそこを外挿しなきゃいけないのかっていうところを説明してください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:51	関西電力の志村ですまずその外層の意味合いでございますが、後 でございますが厳密なところ、
0:55:00	で言う意味があるのかというところは、
0:55:05	そうですね物理的な意味合いというのは、ほとんどないのかな と。
0:55:12	いうものかと思えます。こちらを記載しましたのは、
0:55:17	水密度ゼロという、水がない状態での横並び。
0:55:24	今どれぐらいの実効増となるのかなっていうところを、一応数字 として、
0:55:33	そうですね比較、例えば理事会積算のメリットゼロの点との比較 というものが
0:55:40	あった方がいい、良いかなと。数字として横並びで見えた方が良 いかなと思ひまして
0:55:47	ガイソウした点を記載したところでございます。
0:55:52	だからもう、
0:55:54	そうですね物理的な意味合いという意味ではその外挿というの は、おっしゃるように、意味合いとしては、
0:56:00	そういうところでございますので、
0:56:03	ちょっと記載については皆をさしていただく。
0:56:06	いきたいなと考えております。
0:56:09	規制庁続けてまずこの類似解析 02 の、
0:56:14	水密度ゼロ。
0:56:15	の点のデータがないと比較できないということで、
0:56:21	ちょっと解析は時間がかかるので、何か外挿しちゃいましたとい う。
0:56:26	ことですかそれとも別に0なくても、
0:56:31	妥当性確認の説明ができる。
0:56:34	けれども単なるでたこの表でデータが横並びという観点で、
0:56:39	0があった方が美しいかなと思って、
0:56:42	ガイソウした数字を入れているということで、どちらですか。
0:56:47	関西電力の志村です。今のおっしゃっていただいたうちの後者に なるかなと思ひます。
0:56:54	そうおっしゃっていただいたように、このみフジカワセキ 02 の水 密度ゼロというところに関しましては類似解析結果との比較とい うところでは使用はしてございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:08	ので、確認結果に影響を与える、この値がなくてもですね確認結果に与える影響というのではないかなと思っております。
0:57:17	規制庁スズキそれでしたら消していただいて、
0:57:21	注釈※1も消してください。
0:57:23	よろしいでしょうか。
0:57:27	関西電力の志村です。
0:57:32	この注釈1につきましては内装をしてる点がいくつかあるんですけども、
0:57:40	そういった意味で、外挿という言葉掛けさしていただきたいなと考えておりますが、規制庁のスズキです内装が必要で、
0:57:50	内装残しているということであれば、の内装について残していただいて結構ですただし先ほど私言いましたように、
0:57:57	内装というのは、物理学的に意味合いでも工学的な意味合いでも、
0:58:03	内装の仕方がわかっているからこそ内装するわけであって、
0:58:09	そこはちゃんと意味を履き違えずに内装を使ってくださいね。
0:58:14	よろしいですか。
0:58:18	関西電力の信頼す了解いたしました。
0:58:23	ちょっとその意味合いもそうなんですけど、要するにこう書いてあると。
0:58:29	要するに、
0:58:31	この表の
0:58:33	右、右の2列で公開並んでるわけなんですけど、
0:58:38	正木サイショ
0:58:41	類似解析②の方の0グラムはこれは、
0:58:46	大ソウダと、あとの4点はこれは実際に計算。
0:58:50	表からで計算した値。
0:58:53	なのかどうか。
0:58:54	この四つの中も、
0:58:57	内装が内挿したものが、一部計算してないそうしてるのか、ちょっとまず事実を教えてくださいませんか。
0:59:04	その右の類似会社さんも同じように、
0:59:08	まずそこをちょっとしてもらわないとなイソダから例えば括弧つけるとかねなんか、要するに、おんなじように並んで、
0:59:15	一部ナイトウしましたなんて言われても、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:59:19	そういう見せ方ってのは一番こっち変えたら困っちゃうんで、
0:59:24	ちょっとそこはどうなんですか。関西電力の福原です。ちょっとお待ちいただけますか。
1:00:23	お示ししたいと思います。関西電力の福原です。この米印1をつけているところですけども、図の2-2ですね当協議会セキ2の結果をオレンジ色の十字線で書いてますけども、
1:00:42	ここに載せてるもののうち、どれが、長野計算ちいで、どれがちよっとない内装、外装したのかということころはですね、ちょっと今手元に数字がなくてお伝えできませんのでそこら辺、ちょっと資料上ですねちゃんとわかるようにして、オダシ、
1:01:02	直しさせていただきたいと思います。
1:01:10	規制庁の西じゃそこはちょっとはっきりさせていただくとして、
1:01:14	0、
1:01:15	その時にですね例えば、
1:01:18	どれでもいいんですけど、
1:01:20	類似解析③の、要するにこの表でいうと一番右ですよ。
1:01:25	これは、この表としては123567、
1:01:30	7.8. 7点ないし8点数値が出てるんですけど、
1:01:36	これに相当するgrassっていうのは、これでいうと類似解析。
1:01:40	三角ですよ。
1:01:44	三角で、ちょっと拾ってる範囲も違いますけど、
1:01:49	0.00から0.02のは、0.20の範囲で三角ってたくさんこう、
1:01:55	マーキングがありますよね。
1:01:57	このまま、普通、
1:02:00	いうことはこの三角っていうのはこれ、
1:02:03	これも内蔵内装が入って、
1:02:05	それもマーキングしてあって、
1:02:07	この図を作ってますか。
1:02:11	という疑問が出るんです。
1:02:13	関西電力の福原です。
1:02:17	先ほどの第2号でですね米印1と振ったものを、すなわちこの類似解析の②番と類似解析の③番の結果ですね、今おっしゃいました第2-2図で書いてます。青色の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:02:33	青色の白三角と、オレンジの十時線のプロットですけども、こちらについて、内外装されたものが含まれて図示されている、おりますので、そこについても適切に
1:02:49	扱いをですね
1:02:53	正確に表現するような形で、資料を修正させていただきたいと思えます。
1:03:00	いやねえ。もしそういう整理してるんだったらそれはすごくミスリードするんで。
1:03:05	基本的に、
1:03:07	さっきのその内装の方法書、補方法の話も出たけど、
1:03:11	こういうグラフ、部分にの、
1:03:15	第2のイドの書き方としてはね。
1:03:18	こういう三角とか間野、
1:03:20	十字とか、
1:03:22	そういうものをつけるのは、計算をした点だけですよ。
1:03:27	ほんでそれを断つ内装をして、
1:03:30	その内そうした点も含めて、さらに
1:03:35	スムーズなカーブを引くっていう、そういうやり方っていうのは、非常に
1:03:40	わかりにくっていうかそれはまずい。
1:03:48	関西電力の福原です今三好さんおっしゃられた通りだと思いますので、少しデータの扱いについてしっかり政府とした上で、資料を修正させていただきたいと思えます。
1:04:04	規制庁鈴木です。
1:04:07	第2-2図の話が出たので、もう1点言っておきますと今三好が言ったように、
1:04:14	まず技術文書におけるグラフっていうのは、データ点をまず示すのが重要で、
1:04:20	そのデータに対して例えば、
1:04:26	二次曲線とか三次曲線とか1次元だとかっていうような何かしら
1:04:32	理論的にだとか、そういったことが説明できるようなもので、
1:04:39	フィッティング例えば最小事情とかそういうやり方でフィッティングしましたという線図を付ける分には意味があって、
1:04:46	それは全く問題ないと思うんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:04:49	単純にエクセルの表、表でですね線図を版でですね、荒井データ点を、単にセエクセルの線図で、
1:04:59	引きましたってこれ全然物理学的にも工学的にも何の意味もない。
1:05:04	施栓図になりますので、そういったところ技術文書を作る上でしっかり
1:05:09	ルールにのっってですね、書いていただかないと、我々先ほど三好も言いましたけど、
1:05:15	その線図にミスリードされる可能性があるのではご注意くださいと思います。これは一般論ですので、その辺をちゃんと考えた上で、
1:05:26	グラフだとかそういったものを図示するようにしてください。
1:05:31	続いてですね、
1:05:37	ちょっと5ページに戻っていただいて、
1:05:41	5ページの一番下に米印で、空間平均水密度の定義が、
1:05:49	書いてあるんですけども、
1:05:53	同じ資料の、
1:05:58	30ページの下から、
1:06:02	下のところにもですね、やはり同じように空間平均水密度 ρ の算出方法という。
1:06:10	※2がありますけれども、
1:06:13	この二つって、
1:06:16	全く同じ。
1:06:17	定義で同じ計算をしている内容なのか。
1:06:22	それともここは違って、違う意味合いとして説明しているものなのかどちらかってことを明確にしていきたいんですけど、説明をお願いします。
1:06:36	関西電力の志村です。今週、
1:06:40	この30ページ目のその空間水密度 ρ の算出方法として記載しているものと、
1:06:48	5ページ目ですね、の空間液位水密度というのは同じ。
1:06:53	やり方で算出したものとなりますので、同じものということではちょっと
1:07:01	同じものであるということがもう少しわかるように、見直したいなどは考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:07:07	はい。規制庁鈴木です。
1:07:09	書き方は必ず同じようにしていただかないと、違うものに見えてしまうとよくないので、そこは
1:07:16	記載を訂正してください。続いてですね。
1:07:20	7ページの先ほどのフルタ代の第2-2、2図ですね。
1:07:28	ここの中でですねマークとして、
1:07:35	皮脂白抜ひし形を基本ケースですね。
1:07:40	これの中の、
1:07:42	流量が9000、
1:07:45	二相とる、相当する空間平均水密度が、
1:07:49	プロットされていますけれども、これとですねそれからあと、
1:07:54	久野丸。
1:07:56	それから、マークの*
1:08:00	これは丸と浅利しか全部のデータですけれども、
1:08:05	これラガーについて、この第2-2図で、
1:08:10	示して、
1:08:11	いる意味合いとそれで何を説明しようとしているのか。
1:08:16	資料に何か書いてないような気がするので、
1:08:19	そこを説明してください。
1:08:26	これはあれやな。
1:08:39	規制庁するケースもしですね0*について、
1:08:47	について、資料のですね、
1:08:52	15ページから、
1:09:00	21ページまでかな、何かこの辺のことを説明しよう。
1:09:05	もししているのであれば、そこについて後程また、
1:09:11	何を説明するものかっていうところも聞きたいと思うのであわせて説明していただいても結構です。
1:09:26	関西電力の新村でございます。
1:09:29	ちょっと記載が足りておらず申し訳ございませんでした。第2の人数で每期傘のみを変化させた場合ですとか、集合体の水のみを変化させた。
1:09:40	外セキとその空間平均水密度に換算した状態です。それについてその空間平均水密度に換算した。
1:09:51	状態で並べているというところは目的としましては、
1:09:56	このような

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:10:01	基本ケースですとか今回さしていただいた 7500 ですとか 9000 立米といったリュ際に形成されるような
1:10:12	基礎水密度が小さい、希薄なような状態であれば、このような
1:10:19	体系の実効増倍率というのは、体験の中にどれだけの水分があるかというその空間平均水密度というところで、支配的に、
1:10:29	決まってくるというところを、
1:10:35	収集時の水分状態を空間平均水密度に対して、空間平均水密度で変換した状態で、並べてみることで、支配的に、
1:10:46	なってますよということをお示ししたかったものでございます。
1:10:52	規制庁スズキです
1:10:54	白抜きひし形基本ケースの、
1:10:58	9000 立米に相当する。
1:11:01	データ点も同じですか。
1:11:10	関西電力の志村です。
1:11:13	そうですね
1:11:18	優先。
1:11:27	規制庁スズキ同じかどうかだけ言っていただければ結構ですよ。
1:11:37	関西電力の新村です。基本的には同じかなと考えております。はい。規制庁鈴木です。
1:11:45	まず私の印象から言いますひし形。
1:11:50	白抜志賀他 9000 立米については、
1:11:53	まだちょっとよくわからないところがあるので、そこについてはお話は置いておきたいと思います。
1:11:59	一方で、このそもそも第 2-2 図、これ何を説明しようとしてるのかっていう、
1:12:07	ことなんですけれども、
1:12:12	5 ページの、
1:12:14	3 ポツ 2 のタイトルからすると、
1:12:17	類似解析結果の比較を、
1:12:21	して、類似解析との整合が今回の申請、今回の解析が、
1:12:27	整合がするんだと、説明ができるんだと。
1:12:31	いうその妥当性確認の方法をしようとして、
1:12:35	図示しているのかなというふうに今、
1:12:37	推測できます。なぜ推測できるかっていうと、第 2 のニーズが何の意味なのかって何も書いてないからです。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:44	で、先ほどの説明からすると、少なくとも白抜きの丸と*。
1:12:52	これについては、類似解析として、
1:12:57	確からしいデータとして、
1:13:00	並べているのであれば、
1:13:03	いいんですけど、
1:13:04	どうも。
1:13:05	最初に私
1:13:08	4月7日の審査会合の指摘の内容を改めて、お話ししましたがけれど
	も、
1:13:15	類似解析って確からしいものとして、
1:13:19	持ってきてそれと今回の解析比較することによって、
1:13:22	妥当性を示していると思いますよという指摘をさせていただいた
	で。
1:13:26	その類似解析の例としては、これまでの許可で認めたものも確から
	しいものとして、比較対象にしても構わないということを審査
	会合で、
1:13:37	お伝えしたというふうに言いましたけれども、
1:13:40	そういう観点からすると、
1:13:43	この白抜丸田*の
1:13:47	解析って、72になるのかっていうところが、少なくとも既許可で
	はない。
1:13:53	と思いますので、これは確からしい何かこう、
1:13:57	具体的なベンチマーク的なものがあるって、
1:14:01	それと比較したいということで持ってきた。
1:14:04	というわけではないように、15ページ以降見ると、
1:14:08	見えるので、
1:14:09	ちょっとそこのやっぱり第2-2図にこれを持ち込んだ。
1:14:14	意味合いがちょっとよくわからないんですよね。そこ関西電力ど
	う考えているのか説明してください。
1:14:24	関西電力の福原です。すいませんちょっと
1:14:30	情報ですねてんこ盛りっていうか
1:14:34	能勢杉てます。しゃべりたいゴトウに限定した情報に限定すべき
	だと思いますので、ここの
1:14:46	3.2の類似解析。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:14:48	結果との整合性と、こういうことを説明する上でふさわしいデータに限定したものに少し見直したいというふうに思います。
1:15:00	はい規制庁数でそうすれば、7ページの、
1:15:04	下側の3ポツ2ポツ2ポツ2の、
1:15:08	3段落目以降の説明に限定されるということによろしいでしょうかあの文章も併せてですね、しっかり整合させたものとして資料を整えていただきたいんですけどよろしいですか。8日。
1:15:21	はい。関西電力の小原です。おそらく今お話いただいた内容になると思いますけども、少し
1:15:30	落ち着いて考えて、お話させていただきます。
1:15:34	はい規制庁スズキSお願いします。
1:15:37	ただ、同じ7ページの、3ポツ2ポツ2ポツ1、これ冠水時の実効増倍率について、
1:15:47	説明してるところですけども、
1:15:51	まず基本係数については、
1:15:55	改正の塩素の効果が入っておりますので、
1:15:59	ここのところを分離した説明をまずしていただきたいと思いますんですけども。
1:16:05	関西電力としてはそこは、
1:16:09	無視できるような効果しかないので、
1:16:12	そこを分離する必要もないということでここの説明をされているのか、まずそこを説明していただけますか。
1:16:22	関西電力の新村です。この3ポツ2ポツ2ポツ1の冠水維持というところは
1:16:29	燃料が冠水をしているというところですけども、その場合、すべて燃料が気相部で覆われているということになります。我々のこの解析モデル、
1:16:40	ではですね
1:16:41	気相部は純水として評価をしておりますして、海水があるのは、気相部あごめんなさい気相部のみとなりますので、このここに記載している類似解析2時、基本ケースもですね、純水冠水時には、
1:16:59	燃料冠水時には海水が入っておらず、純水で評価しているというところで、共通したものとなっております。
1:17:09	規制庁鈴木です。ということは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:13	水位が低下してくると基礎分だけ塩素が入ってくるっていうような解析を今、水位低下に対して、
1:17:21	されているということですか。
1:17:25	関西電力の新村です。江藤ご認識の通りです。
1:17:31	規制庁鈴木です。衛藤。
1:17:34	意味、意味合いはわかりましたけれども、
1:17:47	まずな、なぜそういう条件設定に、
1:17:52	下の子がちょっとよく理解できてなくて、
1:17:56	比較の対象としてそういうふうにしてるから比較できるんですけど意味わかったんですけど。
1:18:01	もともと解析条件として、
1:18:04	気相部は塩素を入れない。
1:18:11	どういう意味合いとしてこれ条件設定したんですかね。
1:18:15	ちょっとそっから戻っちゃって申し訳ないですけど説明してもらえますか。
1:18:28	関西電力の新村です。
1:18:31	%ピットの
1:18:35	ピットの水としてどういうものを設定するかでございますけども、実態としては
1:18:43	海水が入ってない状態に対して、
1:18:46	状態を書記として、上から、
1:18:49	海水が担保されるという状態になるかなと考えております。その時に、そのピット水、
1:18:57	というのがどれぐらいの割合で、塩素がいるとかというところに関しましてはなかなか
1:19:05	台を設定するところは難しいとございますので、それであれば純粋という状態を置いてしまおうかなというところでございます。
1:19:17	関西電力のフクハラで少し補足しますと、
1:19:22	事故時に後から買ってる水っていうのはその流量の割合で流量であったりとかその中の、
1:19:31	浄水等海水の比率っていうのがですね、計算上で出てくるんですけども、下にたまり水になってる部分っていうのが、もともと溜まってる水自体は当然そうはいってない逆にボロ入ってますけども、そこは無視するという事になってますので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:51	何らかの形で水の置き換わりが発生していくわけですが、そこがどの程度の回数を含んだものになるのかっていうのを、前提置くのがちょっと難しいところもあってですね、もう溜水の部分のところは、
1:20:06	その水に純水で置いてしまおうというのが我々の考え方でございます。規制庁鈴木です理解できました
1:20:16	水が下がってく過程を表現してるような意味合いとして条件設定したと。当然これ逆に、
1:20:25	上がってくることはないと思いますけど、上がってきた場合はそれより楽になるはずだと。そういうことですね。ちなみにこの辺の説明、
1:20:36	ていうのは、
1:20:37	ちょっと審査会合とかで、
1:20:40	説明があったかどうか全然記憶がないんですけども、資料の方にはその今の説明入ってるんでしょうか。
1:20:49	関西電力の福原です。私の記憶ではあまりリングが4S u i c a会吸込かっているようなことを、会合等で議論させていただいた記憶はございません。資料上ももしかしたら目にそう読める書き方になっていないかもしれない。
1:21:09	ですけども、そこはですね
1:21:14	まとめ資料の中で新カシマ溜水は安全上の水位を判定してますよというようなところはしっかり記載するようにさせていただきたいと思います。
1:21:26	所長です記載の方を、もしなかったらお願いします。一方で単純に、気相部は純粹ですだけじゃなくて先ほどの、
1:21:37	説明されたように、もともと入ってる水でボロ無視しているところに、海水をまぜ込んだ注水ホース、スプレーとかが入ってくる。
1:21:49	その様を考えると、
1:21:53	気相部水が残ってる側の方は純水でせ、方で説明した方が、
1:22:00	説明がしやすいんじゃないかとそういった、
1:22:05	考え方ですね。
1:22:06	その辺も書いといていただき、意見いただけるとありがたいです。お願いします。では続いて、
1:22:16	そうすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:22:20	今の話ですと、まさに、
1:22:23	資料の 8 ページの方で、水位が 0。
1:22:28	については、塩素の影響が、
1:22:31	あるかないかみたいなところが少し何か書いてある。
1:22:35	と思うんですけども、
1:22:40	そこについては、
1:22:48	類似解析。
1:22:51	3
1:22:54	第 2-2 図で言う、類似解析③と、
1:22:58	基本ケースの比較においてその辺は、
1:23:02	無視してもいいようなものなので、
1:23:09	データとしては、基本ケースの、
1:23:12	白抜きひし形と、
1:23:14	類似解析③の白抜三角。
1:23:19	この辺をプロットし、同じようにプロットしているんだっていう そういう理解でよろしいでしょうか。
1:23:30	関西電力の小原です。こちらのこの第 2-2 図のプロットの意図と してはですね、
1:23:40	概ね横時空で示してます、空間平均水密度ですね、が同じであれば、
1:23:53	概ね実効増倍率っていうのは等しいものになるんだと、いうよう なことが傾向として当然燃料状況同じでないと駄目ですけどもて いうことがおわかりいただけるようなものとして、
1:24:09	つけております。
1:24:11	8 ページにかけて少し細かい応札めいた事入ってる部分はですねさ らに赤のひし形
1:24:22	がですね
1:24:24	これ、グラフ上はよくわからないと思うんですけども若干の類似 解析さんよりも小さい数字になっている部分。
1:24:34	っていうのは、そちらの方が演奏を考慮している部分っていうのも 効いてきているものと思いますというふうな考察を少し加えてい ると。
1:24:46	というところですよ。
1:24:49	規制庁スズキです言いたいことはわかりましたけれども、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:24:53	この塩素の効果って水分条件にもよってき方が違うと思いますけれども、
1:24:59	例えば基本ケースみたいな条件において、どのぐらいの効果があるみたいなのところって、
1:25:06	今までの審査会合だとかで、具体的な何か数字として、
1:25:12	説明されたことが、
1:25:15	あったかどうかちょっと記憶が私ないので、
1:25:18	まず、まずあったかどうかということと、このぐらいだから今回の日、
1:25:27	妥当性確認の中では無視しているんだよってということが確定されているのであれば、
1:25:35	1点でも構わないので、
1:25:38	そのデータを引っ張ってきてですねこの程度の差だよっていうふうに直接的に書きちゃった方が、
1:25:44	わかりやすい気がするんですけどもまず今まで塩素の効果を、
1:25:50	定量的に何か示したことがあるかどうか、まずそこをちょっと説明をお願いしますか。
1:25:56	したらなあ。
1:26:00	新フジムラで少々お待ちください。
1:26:18	関西電力の福原です。ちょっと大抵、
1:26:23	が厳密にこの新年度敷き詰めのこの基本係数だったかどうかはちょっと覚えてないですけども、過去議論さしていただいた中で、塩素見る見ないでどれくらい効いてくるもんだっていう、というようなお話はさしていただいたように記憶
1:26:43	してます。ただいずれにせよですね今、鈴木さんおっしゃっていただいたように、
1:26:52	今の資料ですねこれ先週金曜日のオダさしていただいたまとめ資料の中にも、第何ていうんですかね同じ内容のものを入れさしていただいていますけども、等でその中で、
1:27:08	その映像による効果がどれぐらいなので
1:27:17	そういう、うん。ていうことも含めて
1:27:21	記載することも、はい、検討させていただきたいと思います。
1:27:27	はい規制庁スズキですそこはよ、よろしくお願いします。
1:27:31	それずつ引き続いてですね9ページにいけますが、
1:27:40	9ページの4ポツ1両括弧1の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:44	③、
1:27:47	停水み。
1:27:49	低水密度領域においてという、
1:27:53	ここの説明なんですけれども、単純に、
1:27:57	記載の話なんですけれども、
1:28:00	この話が次のページ、
1:28:02	10 ページの
1:28:05	第 4 図、
1:28:10	③って書いてあるところで、中性子が十分に減速されない。
1:28:16	ていう説明に、
1:28:18	なってるんですけれども。
1:28:20	9 ページの方の③の方は、
1:28:24	何か表現が、
1:28:25	違っていてですねこの辺合わしていただきたいなという単純な、
1:28:29	記載の整合の話なんですけれども。
1:28:34	その辺関西電力、対応いただいてよろしいでしょうか。
1:28:42	関西電力の志村です。そのずっとその文章の記載の整合性を図って修正をしたいと考えております。
1:28:53	規制庁都築さん、お願いします。
1:28:56	それからですね
1:29:00	9 ページの両括弧 2 のところですね、今回評価の実効増倍図の挙動という、
1:29:07	ところなんですけれども、今回評価の実効増倍率の、
1:29:12	挙動の説明を、
1:29:14	する時にまず、まず今回の
1:29:17	解析として水をつけて基礎てきそう。
1:29:21	が、違う層として、
1:29:24	水分条件を設定しますよっていう、これが今回の最適評価を持ち込んだ。
1:29:30	最大の注目点だと思えますけれども、
1:29:34	何かそこに、
1:29:36	とらわれた説明が、
1:29:38	10 ページの、
1:29:40	第 5 図第 6 図で、
1:29:42	書いてあるんですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:29:47	結局カー。
1:29:49	この10ページで言ったら、第3図第4図、
1:29:54	説明されていて、そこから、
1:29:57	今回の評価では、第5図第6図で、全然
1:30:01	挙動が違うんですよみたいな結論が、
1:30:05	9ページの最後の、
1:30:07	2行ぐらいのところに、
1:30:12	すなわち、②、
1:30:15	これは第4図、
1:30:17	で言っている②ですけども、
1:30:21	中水密度利益のような核反応が起こりやすい状態が発現しないと。
1:30:27	いうふうに言ってるんですけども、
1:30:29	この此花Cをなんか、
1:30:34	決めつけるとですね、先ほどの、
1:30:37	7ページの、
1:30:39	第2-2図、
1:30:43	じゃあこれは何なんですかって。
1:30:48	思ってしまうんですね。
1:30:52	ちょっと、なぜ、
1:30:56	9ページ10ページでは、
1:30:59	こういう説明をしてて、
1:31:01	7ページでは、
1:31:03	第2-2図みたいな説明を、
1:31:05	して、要するに大の第2のニーズっていうのは、
1:31:09	既許可の第3図第4図、
1:31:12	と同じような、
1:31:14	ステージ、横軸のパラメーターに、
1:31:18	換算すると説明できるみたいな。
1:31:21	話を先ほどちょっと口頭でちらっと言われてましたけど、できるはずなのになぜ、
1:31:27	この第4図の、
1:31:29	②の注水密度領域での、
1:31:33	中性子強度の話が、今回の
1:31:36	評価では、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:31:38	なくなってしまうっていう説明になってしまうのかちょっと、ちょっとそこはわからなくてですね。
1:31:43	ちょっとどういう意図でこの
1:31:45	第5図第6図、
1:31:47	を示したのか。
1:31:49	説明をしていただけますか。
1:32:02	関西電力の新村です。
1:32:05	この第5図第6図でお示したかったのは、
1:32:10	今回、液相と気相を二つに分けて、評価をしますと、その時に、水位の低下に伴って、気相部、或いは気相部の条件、
1:32:22	自体は層の大きさが変わるのみで、
1:32:28	要は水密度ですね、
1:32:31	その他層の中の水密度は変わらないというところがございますので、
1:32:37	この許可のような、重水密度といいますか、この0.1のようなですね、その中での
1:32:46	中性子挙動の変化っていうのが生まれないと、中水密度の状態にはならないというところがございます。
1:32:53	で、先ほどその第2-2図で記載をしておりましたのは、
1:33:00	そうですね。
1:33:02	空間平均水密度というところで、換算をしておりますけども、実態としてその液相部、
1:33:10	がある状態ですと、まず、
1:33:13	そうですね
1:33:16	当然気相部だとその空間平均水密度が1ということで非常に大きくはなってきますのでそれを体系全体で案分すると、
1:33:26	気相部の状態が非常に空間平均水には寄与するという形にはなるんですけども、
1:33:38	気相部につきましては集合体と集合体の間ですね、
1:33:43	こちらの水密度が余りにも大きくなってしまうと、
1:33:49	その減速材というよりか、吸収剤という形に働きますので、
1:33:58	この空間平均水密度っていうところで、比較をするというところは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:34:03	水位がゼロの状態、比較をしているというところがございます。そちらが第2-2図でございます。このようなこの第5図第6図で示してます
1:34:15	スイテイカジに、体系の
1:34:19	中性子の状態がどのようになるかなというところは、空間平均水密度では、
1:34:26	一概に
1:34:28	影響としては述べることは難しいのかなと考えておまして、
1:34:32	このような磯層の圧大きさが変わるだけで、中性子麻生層の大きさが変わるだけで、層の中身自体は変わり、
1:34:42	水分状態としては変わらないんですよという説明に周知して、下図を掲載したというところがございます。
1:34:51	規制庁鈴木です。
1:34:54	言わんとするところはなんとなくわかる気がするんですけど、今の説明で、
1:35:00	9ページの、
1:35:02	下2行すなわち以降ですね。
1:35:05	これを断定できるかどうかはちょっと私には理解できなくてですね。
1:35:11	ちょっと何か、
1:35:13	余りにも限定的な
1:35:16	ことしか説明してないだけなんじゃないかなって気がするので、
1:35:22	ちょっとそこは考えた方がいいかなと思うんですけど、そうしないと第2-2図の意味合いがですねなぜそれで説明するのかっていうところが、
1:35:31	繋がらない気がするんですけど。
1:35:35	いかがですか。
1:35:45	関西電力の福原です。第2-2図はですねこれ水位がゼロの状態に全部土俵合わせてですね。
1:35:57	すなわちホール気相部っていう状態で、空間平均水密度を横軸に実効増倍率をプロットしてってます。その一方でこの10ページの第5図、第6図っていうところはですね、水位が満水のところから、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:36:16	抜けて水が抜けていきますよっていう、そのプロセスを図示して ますので、その水が抜けていくプロセスにおいては、その上の第4 図のような、
1:36:29	中間的な木、
1:36:32	水がそっからかんでも、どこどこでもねいや、中途半端なその水 も、
1:36:38	水の状態にはなりません、そういう状態が発現しないというこ とを申し上げているので、そもそもちょっと、
1:36:49	喋ろうとしている内容は、2-2 とですね、この分の5と6では少 しちょっとフェーズっていうかねらってるところが違うというの は、ご理解いただけ
1:37:00	たらなと思います。規制庁スズキですいません今の説明。
1:37:05	ここには何も書いてないし、
1:37:08	今の説明は違うところを見てるだけなんですよって言うよう に聞こえるので、
1:37:13	今回の評価の実効増倍率の共同として、
1:37:17	二つ説明しなきゃいけないんであれば、二つ説明しとかなきゃい けないんじゃないですか。
1:37:27	関西電力の福原です。二つ説明しないといけない。
1:37:33	つまりですね今回の評価の妥当性確認に置いておいて、
1:37:39	第2のニーズを持ち出すということは、
1:37:43	10 ページで言うと、第三条第4図。
1:37:47	のような、
1:37:48	確認をしている。
1:37:50	と思うんですけども、
1:37:53	まずそこは違うんですか。
1:37:56	同じであれば、今回の評価においても、第3図第4図は説明をし ないといけないんじゃないですか。
1:38:09	思います。
1:38:12	関西電力の福永です。ですね、
1:38:20	3.2の類似改善結果との整合性というところと、
1:38:26	9 ページ以降ですね解析結果に対する考察という部分に分けて記載 させていただいてます
1:38:35	いろんな切り口で結果を説明してきたんですけども、あくまでそ の妥当性確認っていうのは

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:45	関西電力が今までしゃべってきた内容の中で妥当性確認に値するものというのは、あくまで一般的な物理式との整合と類似体制の説明。
1:38:58	ただだと、その以外の部分っていうのは下にある考察と、
1:39:05	いうふうに位置づけるということでしたのであと、薄さにより説明してきている内容を、
1:39:16	もれなく資料化するというところも踏まえてですね
1:39:22	4月28日に資料を出させていただいてるところではあるんですけども、ごめんなさい。
1:39:32	規制庁鈴木です。
1:39:35	規制庁鈴木です。東電を割り込んで申し訳ないんですけども、
1:39:42	やっぱり、言ってる意味がよくわからないのと、
1:39:46	あと、
1:39:48	まとめてですね、5ポツのまとめの
1:39:51	内容についてですね。
1:39:53	私の全体的な印象だとか、
1:39:58	こういうことを言いたいんですけどってところをまとめて来お聞きしますその時にここにもついてももう一度触れますので、
1:40:06	とりあえずここは飛ばさしてもらいます。続いて、
1:40:10	次に行きますけれども、
1:40:17	11ページですね。
1:40:20	4.2の両括弧1、
1:40:22	の内容ですが、
1:40:25	ここ、
1:40:26	MVPコードを使ってこういうふうになってますっていう説明を、
1:40:31	されてるんですけども。
1:40:34	すいません今回使ってるのSCALEコードで、
1:40:38	スケール行動のなんかこう、
1:40:43	共同の説明をするのに、MVPコードではこうなってるからですってこう言われてもですね。
1:40:50	あんなぜ。
1:40:52	その説明はSCALEコードの説明になってるのかちょっとよくわからないので、
1:40:56	まずMVPコードとSCALEコードが差があるような、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:03	ものなのかそうじゃないので、こういう説明をすればいいのかっていうところがあるのであれば、まずそこをちょっと説明してもらえますか。
1:41:14	関西電力の新村です。
1:41:17	まず今回この両括弧1のところではですね、
1:41:22	前段に記載をしております
1:41:27	液相部と気相部とで中性子の挙動が異なるんですよと、そちらを何かしら
1:41:34	コードを用いた
1:41:38	定量的な結果としてお見せできればなという思いで実施したものでございます。
1:41:45	S C A L Eコードでですねこの
1:41:49	ピットの体系、3次元の体系において、中性子束スペクトルを求めるところがなかなか難しい。
1:41:59	ところでございますので、今回
1:42:02	気相部と液相部それぞれで中性子の挙動が異なるんですよと。
1:42:09	それをお示しするために、M V Pコードを用いたというところでございます。
1:42:22	すいません規制庁イワモトちょっと確認させていただきますM TコードはもともとE A L Fの計算機能なかったと思うんですが、
1:42:30	そちらで手計算がなされたんでしょうか。
1:42:43	関西電力の新村です。E A L F自体はスケールの、ごめんなさい。
1:42:51	そうです。中性子スペクトル。
1:42:54	を求めるにあたってはM V Pコードを使用しておりますして、そちらの考察につきましては、両括弧1の方に記載をしております。E A L Fに関しましては、スケールを用いて算出した結果、
1:43:10	ぜひそちらは両括弧2の方に、そのスペクトルに対する考察とは別に記載をさしていただいているものでございます。
1:43:20	了解いたしました結局値二つの構造値が違う結果を使われてることですね、了解いたしました。
1:43:36	それから、ついでで恐縮ですが、姫路表ですが、M V PとS C A L Eルーの両方使われてるということなんですが基本的な大きな違い私の記憶では、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:48	MVPは連続エネルギーで、あと、ライバルもと違うというのがあるんですが、それは置いといたとして、
1:43:55	エネルギーの扱いがまず違ってスケールについては、
1:43:59	多分が使われてるんですよ、連続のありましたっけちょっと記憶が。
1:44:06	ないんですが、
1:44:07	だとすると
1:44:10	結局スケールについてはかなり細かいエネルギー群でやってるということもあるので、ほぼ連続エネルギー等同等の性能を持つてるんだらうと。
1:44:21	認識しますさらに国際ベンチマークでですね解析精度ってのは非常によく
1:44:28	検証されていて、
1:44:29	そういう有限の分数でも十分解析ができることは証明されてるといのが私の
1:44:38	理解なんです、そういうことで使われてるといことよろしいでしょうか。
1:44:46	1課、関西電力の志村です。
1:44:49	まずMVB構造につきましてはおっしゃっていただきましたように、エダ目連続分布の断面セキを用いて、
1:44:58	おります。スケールに関しましては、
1:45:03	5月13日に提出さしていただいた一色のまとめ資料の中には記載をしておるんですけども、まだ面積ライブラリとしたエンド不備セブン
1:45:13	を使ってございまして、238分、
1:45:20	それで238群の
1:45:23	断面セキライブラリを使用しております。支所ショウガン地区は、
1:45:32	そちらのまだライブラリの妥当性というところにつきましては、おっしゃっていただいたように国際的な機関でのベンチマークというところで妥当性が確認されているものと認識をして、
1:45:48	おりまして制度としては十分なものと考えております。
1:45:53	規制庁山本です。おそらくですね二つの高度差を、
1:45:58	比較するような使い方されてないし、
1:46:00	どちらかというと同じコードで同じ土俵で

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:46:05	違うケースの比較をされている意味では特に問題はないと私は考えます。以上です。
1:46:13	規制庁鈴木です。
1:46:16	結局、11 ページは4 ぽつに両括弧 1 で MVP コードを使っているのは、
1:46:24	まずこういった確認をする。
1:46:28	例えばデータのアウトプットなり、
1:46:30	その上でちょっとスケールはやりにくいので、
1:46:33	ほぼほぼ同じような解析ができる MB コードを持ってきてそれで確認をしましたということであれば、まずその説明を最初に入れていただかないと、
1:46:46	何でここでいきなり MVP コードの話になるのかちょっとよくわからないということが私の
1:46:51	聞きたかったイドです。そこはいかがですか。
1:46:56	関西電力の志村です。
1:46:59	ご指摘を最もかと思しますのでこの MVP コードを使った経緯をもう少し資料に追加したいと考えております。
1:47:08	成長スズキですお願いします、続けて。
1:47:11	先ほど山本から E A L F の話が出ましたので、出まして 4.2 両括弧 2 の、
1:47:19	E A L F のところなんですけれども、一番下の段だ、11 ページ一番下の段落また書きですね。
1:47:27	ここですね、
1:47:30	各解析係数、解析結果において、
1:47:34	実効増倍率が低下する水といえる F が低下し脱水が 1000mm 約 1000 ミリメートルで、
1:47:42	整合しているとそこそこは単にそういう結果が、
1:47:53	だったかな。
1:47:55	14 ページの第 9-1 図 9-2 図で載っているのでそれは見ればわかるんですけど、
1:48:02	そのあとの 11 ページの最後のくだりですけど、当該水付近要するに約 1000 ミリメートル付近の推移で、
1:48:10	体系を支配する層は液相から気相に遷移するんだと。
1:48:15	いう話をされてるんですけども、
1:48:19	もしこれが何か正しいとすると、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:23	前の方の、
1:48:29	5 ページの第 2-1 図、
1:48:34	バックリングの説明ってのは、
1:48:37	水、生命要するに 100 センチ、
1:48:40	ぐらいのところ、バックリングの話じゃなくなる。
1:48:44	ていこと言わんとしてるのかちょっとよくわからそこが、何を言おうとしてるのかちょっとよくわからないんですけども。
1:48:50	この説明をしてください。
1:49:09	関西電力の志村です。
1:49:13	そういう 102 のところでバックリングの推薦日のところで、まずバックリングの観点でいうと、同じようなところで、
1:49:27	実効増倍率が減少に転じていると、いうところですけどもこちらにつきましては
1:49:37	そうですねその体系からの
1:49:40	中性子の漏れ量というのが由井に出てきていると、それでもって、実効増倍率が単調に減少していくというところかと。
1:49:50	思います。まず、そっちそれが
1:49:54	そのターニングポイントが、推薦日のところに、
1:49:57	あると、漏れの影響が如実に出てくるというところでございます。
1:50:02	つまりその液相部の
1:50:06	真子このぐらいの、気相部中のウラン量とかっていうところになると漏れの影響というのが出てくるということになるかなと思います。
1:50:22	こちらの E A L F の考察においてこちらも推薦ミリで立ち上がっているというところからしますと、
1:50:34	守れの液相部自体でのその実効増倍率というのは
1:50:39	由井には決まらず、
1:50:42	もう少し上のですね気相部の方の
1:50:46	水分状態ですか沖積と状態によっても、
1:50:50	実行増倍率が決まり出してくるということで
1:50:59	この 11 ページ目のその他の記載をしたという
1:51:03	ものでございます。
1:51:06	規制庁続け最後の説明はちょっとよくわからなくてですね。
1:51:10	それがあらかどうかの検討先ほどの第 2-2、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:51:19	第2-1図の上のところの、
1:51:22	検討でされるということであればそこを見てからないとよくわからないですけどもただ少なくとも、
1:51:30	体系を支配するそうは変わらないからバックリング、要するに、液相への漏れ、中性子の漏れ。
1:51:39	で説明できるっていう、
1:51:41	ことを、水位が1000ミリメートル要するに100センチより下回っても、
1:51:48	言っているんじゃないかなという、私は認識してたんですけども、もしそういうことだということであれば、適切に表現をしていただきたいだけなんですけれども。
1:52:06	規制庁の三吉です。
1:52:09	支配する当該層唐木層に遷移するっていうのこれは明らかにミスリードだと思います。
1:52:16	この表現は、
1:52:17	要するに支配する層っていう意味にもよりますけど、
1:52:21	結局、こういう二相の話だと、気相と液相でどっちがKエフェクティブのウエイトが大きいのかっていう、個別に領域別に分ければです。
1:52:31	それが大きいほうを支配するソウダっていうんであって、
1:52:35	たまたま、たまたまというたまに、
1:52:38	1メートルぐらいの、
1:52:40	ところの、
1:52:42	1メートルか1メートル50だから大体そのぐらいある方向の寸法があると、ほとんど漏れがきかなくなるんで、
1:52:50	スペクトル的には無限体系の、
1:52:52	もう、あのスペクトルと変わらないと。
1:52:55	でも俺が、さっきのバックリングの効果で、
1:52:59	引き出すと、
1:53:00	一瀬首藤と調整してもらえる割合が変わりますから、
1:53:05	当然漏れが有意に聞き出すと。
1:53:08	その中性子のスペクトルが、
1:53:10	変わって、EALFも変わると要するに、当然その、
1:53:15	マークに抜き出すのと、それが聞き出す奮闘とEALFが変化した寸法というのは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:24	基本的に一致するわけですよ。
1:53:27	だから、一致するから、
1:53:29	ていうそういう事実があるんだけどその支配する当該気相から別に気相にして、
1:53:35	変化したわけではなくて、
1:53:37	要するに支払い、基本的に支配している液相の部分のスペクトルが、
1:53:43	俺の、
1:53:44	モリワキ出す、そのある一定のレベルで、
1:53:48	変わったという。そういうことなんで、
1:53:52	この表現は直す必要があるんじゃないかと思います。
1:54:02	はい。関西電力の新村です。そうですね。
1:54:08	おっしゃっていただいたように、ちょっと水里道かなと。支配している層は液相で変わらず、そこからの漏れ量というのが、変わるに従って家も変わっているその整合していると。実態としても、
1:54:25	EALFのスケールで外されたEALFの立ち上がりっていうのが、おんなじ1000mmぐらいのところで立ち上がっているという、その整合性があるというようなちょっと記載に、
1:54:38	適切に皆をさしていただきたいと考えております。
1:54:45	規制庁表です。
1:54:47	ついででちょっと恐縮なんですけど1点ちょっとコメントさせていただきたいんですが、
1:54:52	今EALFで議論をされてるんですねそれでただ、
1:54:57	確かにELが高いと、原則不足になるんで、当然核分裂も減りますよねというのが暗黙の了解で書かれてると思うんですが、
1:55:07	必ずしもそれが頭に入ってる人が読むだけがうまくじゃないので、
1:55:12	もっと直接比較するという意味ではですねe f fもさることながら、例えばですけど核分裂断面セキの1群のものをプロットしたら、一目瞭然じゃないかなと思って、
1:55:24	結局水位が高いところはウダ面積高くて、
1:55:28	スペクトルが硬くなってくるとそれからちょっと落ちてくるというのを見ればですね当然、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:33	分裂が減れば、固有値も下がるの当たり前っていうか自分でも自明なのでですね、だから下がりますと言った方が、私の説明としてはすっきりするんじゃないかと思うんですが、いかがでしょうか。
1:56:01	関西電力新村所長大町ください。
1:56:14	すいません関西電力の福原です。ちょっと今山元さんおっしゃっていただいた、
1:56:20	今ですね少しちょっとよくわかりかねましてですねもう一度説明していただいていいですか。
1:56:28	山川根本ですが、
1:56:30	あれですねE Fというのはこれ、結局水槽と液相に分けたわけじゃないですねスケールで計算すると多分一つしか出てこないんで、
1:56:40	結局それで気相と液相の、
1:56:43	その割分担がかぶった状態になってるんですね。だから本当は液相と気相で分離して、このE A L Fの求めればあんまり変わらないはずで、
1:56:55	ただその割合が変わってるので、水槽から液相の重みが増して、引きずられてこれが上がってることだと思うんですけど多分その辺で多分誤解が。
1:57:05	出てきてるんじゃないかなというのが一つあって、
1:57:07	それで、
1:57:09	何を言ったらいいかということですねE A L Fが立ち上がるから、
1:57:14	実効増倍率が1000mmのところから下がりますと書かれてるんですけど、
1:57:19	ただE A L Fで何かいうところでエネルギーですよ中性子が核分裂するときのエネルギーの平均エネルギー幾らで使うことなので、これが下がったから、必ず実効増分が下がるかということと全然根拠ないです。
1:57:32	物理的に関係ないものを言ってるわけです。
1:57:35	なぜ下がるかといえば、E A L Fが下がると。宇多津E A L Fが下がる。下がるか上がることによって、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:57:46	核分裂断面セキが平均の風ん群列ためにセキが小さくなるので、その結果へたってきてですね、実行物が下がりますよというんだったら、
1:57:58	物理的には正しいと私は思うんですけど。
1:58:01	だから、ここでEALFだけで説明しようとする、
1:58:05	何か何ていうかちょっと普通の上から紹介してるような施設になってるんじゃないかなと思ったんです。
1:58:15	はい。関西電力の福原ですおっしゃっていただいた資料は、少しわかりましたので、ここの説明内容についてもう少し再検討させていただきます。
1:58:33	規制庁するケースでは続けます。
1:58:36	資料の 15 ページの、
1:58:45	15 ページ以降かなちょっと。
1:58:49	全体的に見てない。
1:58:52	ので、
1:58:53	端的に言うんですけどね。
1:58:55	資料 20 ページの第 3 表、
1:59:00	ですけれども、これ
1:59:03	結果ボード配置の話を、
1:59:06	何か、
1:59:07	持ち出していて、まず何を説明しようとしてるのかちょっとよくわかんないですけど。
1:59:15	審査会合で言ったその傾向、
1:59:18	類似解析との比較みたいなもので、何かこう、
1:59:23	説明しようとするのであればやっぱり確からしい。
1:59:26	物を引っ張ってこないと、
1:59:32	甲斐比較しても意味がないということで、少なくともチェッカーボードの話は途中で、
1:59:38	審査の過程では出てきましたけど我々認めたわけでもないし、
1:59:44	チェッカーボードのこのは、こういったものが何かこうベンチマークみたいなものであるっていう話も聞いてないので、
1:59:52	この結果棒の話を、
1:59:55	持ち出す、しても、妥当性、
1:59:59	確認の材料にはならないと思うんですけども、なぜこのチェッカーボードの話を持ち出してきているのでしょうか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:00:10	関西電力の志村です。まず、チェッカー合同の
2:00:16	値、チェッカーボードで解析した結果を参照しておりますのは今回のその基本形はまず、
2:00:26	今回の解析結果の妥当性を確認するために、まずこちらを参照しているものではございません。
2:00:34	ですので
2:00:36	妥当性確認というところには均してないものかなと考えております。
2:00:43	先ほどから申し上げましたように、4ポツ以降はですね、
2:00:49	今回その解析結果を補強するためにいろんな観点から
2:00:59	いろんな観点で間瀬結果を補強する概要として、
2:01:05	感度解析ケース、ごめんなさい。チェッカーボード配置での結果を持ってきていると。
2:01:13	考察という位置付けで持ってきてるものでございます。その考察の中でこのチェッカーボード配置での結果を出してきたものとしては、今回、
2:01:27	この4ポツの中でですね、集合体、
2:01:32	今回その液膜と集合体の外それぞれ別々の水分状態を設定するというので、
2:01:41	駅間格差がどうなったら、次構造物が増えるのか、或いはその集合体と集合体間の水密度がどういう状態になった時に実行動物が、
2:01:55	大きくなるのかっていうところを、サーベイをしてございますけれども、こちらにつきましては、
2:02:03	基本的にSFピット全体ですね、局所的な部分だけでなくSFピット全体に対してパラメータサーベイをしたものを、
2:02:13	10人数ですから、失礼しました。
2:02:18	v a l i d 第10図から、13図、
2:02:22	で掲載しておりますけれども、こちらで獲られた定性的な状態ですね、儀間笠田というほど実効増倍率が大きくなると、集合体と集合体間の水密度は、
2:02:37	水密度が0.1になるまでは水が大きくなるほど実効増が大きくなるというところに対して、
2:02:44	局長の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:02:49	局長に今流量が集中した場合であっても同様の傾向がえられてますということを、
2:02:55	お示ししたいなと思ったときに、過去
2:03:00	そのような観点で、解析をした結果がございますので、そちらで説明の補強を行ったという、
2:03:07	感じでございます。
2:03:12	規制庁スズキすまず
2:03:16	9、7ページの第2-2図。
2:03:19	で言うところ能を白抜丸液膜厚さのみを変化させた。
2:03:24	解析のことを今言われていたかなと思ひまして、妥当性確認においては先ほどこちょっと書き過ぎたので、
2:03:32	載せるべきデータを整理しますという回答があったかと思ひますので、まずそこは関係ないんだと。で、
2:03:42	15ページ以降、
2:03:46	なぜそのチェッカーボードの話で、
2:03:50	液膜厚さの、
2:03:51	傾向分析ですか。
2:03:54	をされているのか、それが今回の説明において、
2:03:58	必要なものなのか、もし必要だったら何でチェッカーボードでやるのかなっていうとでも疑問で、チェッカーボードじゃなくて、今回の最終的な、
2:04:08	解析条件である新城敷き詰めであればいいだけのような気がするんですけど。
2:04:14	いやそこまで必要性がないので、
2:04:17	過去同じような解析したので、傾向をちょっと説明するために持ってきましたとそういう意味合い。
2:04:24	であれば、
2:04:26	何かそういうことをちゃんと書いといていただきたいんですけども。
2:04:30	いかがですか。
2:04:39	関西電力の志村です。今回、チェッカーボードの解析を持ち出した意図としては今おっしゃっていただいて、うちの後者の方、
2:04:51	になりますので、その旨ですね、
2:04:56	また、参考の位置付けで、
2:05:00	結果暴動。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:05:02	の解析を持ち出しているということをもう少し明確にわかるように記載したいと思います。
2:05:08	はい規制庁スズキですじゃ次に行きます。
2:05:12	23 ページなん。
2:05:16	の表なんですけど、
2:05:23	第4章の、
2:05:25	番号で言うと、
2:05:27	ローマ数字、両括弧1、
2:05:30	要するに1行目のところですね。
2:05:33	ここで計算機プログラムの検証というのをやっていますというふうに、
2:05:38	書いてるんですけどこういうすけSCALE6.0が、
2:05:43	使えるんですけど。
2:05:45	いうことを言ってるんですけど、これ既許可において、
2:05:50	確認されて当然確認されている内容だと思うんですが、
2:05:55	今回の設置変更においても、改めて確認しなきゃいけないような、
2:06:01	例えば範囲確認してた範囲が狭かったので、改めて確認し、し直しましたとか、
2:06:07	そういうことを説明したいということですか。
2:06:15	関西電力の志村です。こちらでお示ししたかったのはですね今回解析を実施するというところで、使ってるコード自体はスケールということで、一緒なんですけども、本当に
2:06:30	解析者が解析をするにあたっての環境というのが、
2:06:37	今回ですね解析をする、今現時点であっても、適切な環境のもとで、
2:06:45	実施されてますよということを確認をしたというものでございます。はい。とかの通り、
2:06:52	確認し、許可の際に確認したことと、
2:06:56	同じことを、この解析を実際にするっていう時にあっても、再度確認したという位置付けになります。
2:07:04	規制庁スズキそこは
2:07:07	規定内容でいう。
2:07:10	受注者括弧解析者の両括弧2のところを、ごめんなさい。両括弧3かな。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:07:17	のことを言ってるように聞こえたんですけど、
2:07:21	一方で当社の実施事項っていう、右側の欄では、
2:07:26	SCALE6.0が適正なものであることが以下の通り事前に検証されていることを、
2:07:33	今回確認したように見えるので、お聞きしたんですけど。
2:07:38	今回も確認しなきゃいけない買ったのかどうかっていうところを説明して欲しいんですが。
2:07:59	関西電力の福原です。
2:08:05	今回っていうか今回のこの申請にあたり確認しておりますしましたというのがお答えになります。
2:08:17	昔やってるからもう、しなくていいというものではないと思っておりますので、
2:08:25	今回実施しております。規制庁鈴木です。じゃ、
2:08:30	確認した内容は、許可と今回と同じですが違いますか。
2:08:39	関西電力の福原です。確認した内容は同じになります。
2:08:46	規制庁スズキです。その意味合いがよくわからないですけど、
2:08:50	既許可と同じように、同じ内容を確認したということ、わかるように書いておいてください。
2:09:01	よろしいでしょうか。
2:09:02	はい、了解いたしました。続けて、24ページ。
2:09:09	同じ第4表の中の、
2:09:13	と番号が、
2:09:16	ローマ数字の両括弧6。
2:09:20	何か良いんじゃないかなって気もするんですけど、書いてある両括弧6ですね、上側の行ですね。
2:09:28	ここの当社の実施事項の中に、
2:09:33	先ほど、
2:09:41	20ページで言ってたような、
2:09:44	解析。
2:09:45	が登場してくるのが、すいません四角枠んなってるので、
2:09:50	言えないんですけども、
2:09:52	20ページの第3表で言ってたような、
2:09:57	解析が、
2:09:59	なぜか登場してきて、
2:10:01	なお書きのところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:10:05	これこれできると最後、
2:10:07	書いてあって、
2:10:09	なんかちょっとさっきの説明と違って、ここはあくまでも妥当性確認として、
2:10:14	第4、第3行、20ページ第3表の、
2:10:17	この解析を、何か類似解析が言っちゃいましたねすいません類似解析って言っちゃいけないんだったら、後で。
2:10:25	伏せておきますけど。
2:10:27	類似解析として用いるという、
2:10:30	ふうに、
2:10:31	に書いて、
2:10:32	いるように見えるんですけど
2:10:34	結局ここは何を、
2:10:37	言いたいんですかね。
2:10:40	先ほどの説明と違うことを言いたいんですか。
2:11:06	関西電力の福原です。今先ほど鈴木さんがちょっとおっしゃられた部分は機密上は全然問題ないと考えてますので大丈夫でございます。サトウの今押さえたが
2:11:23	四角囲みで機密情報に表示して書いてある内容のところを、の内容を
2:11:33	秘密情報じゃない言葉を使いながら説明してくださいっていうのがオーダーだということによろしいですかね。
2:11:41	聞きたいのは、
2:11:45	先ほど、20ページの第3行のデータを用いるって説明することは、
2:11:53	妥当性確認つまり類似解析との比較みたいな、
2:11:58	そういったものに用いているわけじゃないんだっていうふうに、
2:12:02	説明が、
2:12:03	あったと思いましたけれども、
2:12:06	ここでは、類似解析だというふうに言われているので、
2:12:12	類似解析として妥当性確認の比較対象として、
2:12:17	持ってくる説明を何かしてるように見えるんですけど。
2:12:22	そういうことではなくって、何か傾向分析をするために、
2:12:27	こういったこの
2:12:29	体系でやってみましたってことを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:12:32	書いてあるということであれば読めないの、ちょっと先ほどの説明と全然整合しないなと思って聞いてるんですけど。
2:12:43	今回フクハラです少々お待ちください。
2:13:14	関西電力の福原です。ここもう、
2:13:19	この第4票の後、
2:13:24	帰り表示している中で出てくってます。我々が使用してますこの類似解析という、
2:13:31	当面言葉ですけども、これはですね、
2:13:36	本日のこの資料の、
2:13:39	3ポツ2でですかね先ほど来議論させていただいた同時解析結果との整合性っていう、いうところでしゃべって
2:13:49	いるの維持改正に、
2:13:56	厳密には違う意味合いで、少し使ってます、
2:14:02	この三分の2で言ってます①解析っていうのはちょっと先ほどデータ大分絞りますということを言いましたけどもこの許可での解析結果に限定して、
2:14:18	データを絞ろうと思ってますけども、この第4表で出てくる類似解析っていうのはですね、
2:14:29	それからもう少し一般的な新居新田様な解析という意味合いで、ここは使用しているものです。
2:14:37	ちょっと回答になっているかどうかあれですけども、要は、厳密に体系が一致しているものではないけどもチェッカーボードの結果もそれとも類似の結果を与える解析ですよと。
2:14:54	というような意味でしゃべる。記載している。
2:14:57	ところでございます。
2:14:59	規制庁鈴木ですすいませんそれだと、
2:15:03	同じ欄の一つ目の矢羽根 a ポツ、 b ポツってこれ、
2:15:09	妥当性確認の仕方として、例が挙げられている類似解析結果との比較、物理的または工学的整合性の確認ということ。
2:15:20	類似解析出てきてるんですけど、
2:15:26	これまでの説明だと類似解析との、
2:15:29	結果との比較で妥当性確認すると言っている部分は、
2:15:33	対0と赤間満水の状態のところそれから、
2:15:39	Bポツで物理的または工学的整合性の確認と言っているところはそのバックリングによる、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:15:45	減少傾向のところを説明するところ。
2:15:48	の対比として、説明をされてたと思ったんですけども、
2:15:52	二つ目の矢羽根で、類似解析は、一つ目の矢羽根の a ポツの類似解析じゃありませんということをお願いいたってことですか。
2:16:01	関西電力福原です。少々お待ちください。
2:17:54	関西電力の新村でございます。
2:17:57	こちらの
2:18:00	二つ目の矢羽根で答えなかったのはですね、
2:18:06	今回我々、メーカーに解析を調達してメーカーさんの方で解析を実施していただいたという形にはなるんですけども、その際に、
2:18:19	この赤囲みの中で書いてある 20 ページに記載。
2:18:25	されてますような、
2:18:29	チェッカーボードでの
2:18:33	井関委員。
2:18:34	についてはこの今回の新燃料敷き詰めでの解析を実施する以前にですね、以前に同じようなステップを踏んで
2:18:49	この一つ目の矢羽根の
2:18:52	確認を実施済みのものであると。つまりその検証が適切にされてある解析結果であるという位置付けで、今回、新燃料敷き詰めでの結果との比較を行ったと。
2:19:06	いうものでございます。妥当性確認済みという、我々、メーカー事業者として妥当性確認済みであるものと、今回のその新燃料敷き詰めでの、
2:19:18	結果を比較したと、いうことを、今回、
2:19:23	の解析実施にあたって我々が、
2:19:26	我々とメーカーが行ったこととして記載をしたものでございます。そして一方で資料の本文、資料中にあります、
2:19:37	今回のその類似解析との
2:19:39	比較という
2:19:41	ところでの評価といいますのは、
2:19:48	規制庁さんとして過去、許可を、許可でご確認をいただいているものですとして、その
2:19:59	このような条件を採用している、解析との比較を説明にあたっては使用しているということで、今回
2:20:10	この表の

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:20:14	第4表で記載したところと、
2:20:19	先ほどの今回の類似解析として、許可と同じような条件での比較を行いましたというところがちょっとステージが
2:20:27	違うというところになります。関西電力のフクハラでちょっとお待ちいただけますか。
2:21:20	あ、関西電力の福原です。
2:21:24	ちょっとこの資料ですねもう一度よく今、見直しますと、今非表示、
2:21:33	再表示しながら書いてあるブロックの部分ですけども、ここには、本日のこの資料の3ポツ2で記載させていただいた妥当性確認というか主解析。
2:21:47	そういうのを結果、この検証をこういうふうにしたよということをかいつまんで書くのが、いいのかなというふうに今ちょっと思い直しましたので、そういった形でちょっと記載を、
2:22:01	改めさしていただきたいというふうに思います。
2:22:06	規制庁鈴木です。
2:22:13	はい。
2:22:15	規制庁スズキちょっとちょっと
2:22:18	ミヨシがちょっと先に、ちょっと時間がないので確認したいことがあるということで、ちょっとそれ、それを挟ませてもらいます。すいません吉井です。ちょっと今のことと関連するんですけど、
2:22:29	要はチェッカーボードのところがさっきの表でも出てきて、それが妥当性確認なのか参考データなのかちょっとその辺位置付けまだ私も十分認識してないんですけども、
2:22:41	基本的にそのチェックボードっていうのは今の審査これまでの審査の段階で出てきた一つの
2:22:48	設計案で、そこでも当然感度解析はやったと。
2:22:52	それはその妥当性が確認された、今のお話で、それを妥当性が確認された。
2:22:59	この計算例としてそれを、
2:23:01	引っ張って今の現在の設計例がいい悪いっていう議論はちょっと難しいんじゃないかというのがまず一つです。
2:23:09	あともう1点ちょっと確認したいのは、
2:23:12	基本的には設計は1領域で新年度になってるので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:23:16	それに対して基本ケースなり、
2:23:21	違ったケースなり、
2:23:24	それに対する
2:23:26	先ほどから出てる気圧の液膜の厚さだとか、
2:23:31	水分量の感度、そういったものは新燃料の今の設計ですべて用意されてる。
2:23:39	必要があると思ってるんですけど、そこは大丈夫なんですかっていうことだけちょっと確認したいと思います。で、そういうものがワンセットあって、
2:23:49	それに対して、
2:23:51	前のチェッカーボードも含めた、
2:23:55	今は採用されてないもので、類似の感度解析があったとしたらそれを参考2として、
2:24:04	それと大きな違いがないということ
2:24:07	触れるか触れないかっていうのはある程度
2:24:10	写真申請者側、 η が言いたくないかっていうことで、
2:24:15	必ずしもそれ必要ないとまでは言うつもりはないんですけども、
2:24:19	ちょっと1点だけ、今の確認したいのはさっき言いました、今の試設計の条件で、
2:24:27	そういうチェッカーボードのものを流用して、
2:24:30	それをデフォルトとして、説明をしている部分は、
2:24:35	ないのかっていう、そこだけちょっと確認させてください。
2:24:47	だから、
2:24:58	関西電力の福原です。高宮さんの50%ローンに対してですけども
2:25:07	今日の資料で所々やっぱりチェッカー報道の結果を引用した記載っていうのが残っているっていうかございます。しかしながらやはりそのチェッカーボードっていうのは、その結果っていうのが、何か別にオーソライズされたわけでもない許可のものでもない
2:25:27	ということは我々もちょっと理解してますので、それを頼りにした、何か次のものの物言いをは基本できない。
2:25:39	ていうことを本日、ご指摘いただいたというふうに理解しましたので、そういった部分が残ってる場所は、基本、違う形ですね、サービスが取れているリファレンスになる結果オカユリに、妥当性を説明していくと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:25:56	というような形に改めたいというふうに思います。これを考えてますでしょうか。今、いずれもちょっとその部分を、あるかないか、ないのかもしれないですけども、
2:26:10	今の1両新燃料の必要な引き詰めという体系で、
2:26:16	感度解析。
2:26:17	やはり、その妥当性を確認すると。
2:26:21	いう意味でそこがまず中心なんで、そこで閉じてるかどうかというのを確認してください。あと
2:26:30	大瀬家ボードの計算例を、
2:26:33	いわゆる妥当性確認という、そういう、
2:26:37	計算の
2:26:40	信頼性を上げるための手だてとして使う。
2:26:43	いう所があれば、入れていただいてもいいですけど、
2:26:47	よっぽどのがなければそれは特に入れなくても、
2:26:52	いいのかなと、これは私の個人的な意見。
2:26:56	ていう、
2:26:57	感じですねそこをちょっと確認して、
2:27:00	いただければと思う。
2:27:03	はい。関西電力の福原です。サトウで(二)に使うものはしっかり、リファレンスっていうか軸はキーがしっかりとれたものを、を頼りに妥当性確認ご存じのべきと、こういうふうに理解いたしました。
2:27:18	一方で、補足の考察といったものですかねに結果合同の結果を何らかの形で引用して
2:27:30	いうふうには構わないでまあ、予算的にはいらんんじゃないかと、それぞれもういらんんじゃないかというご意見だというふうに理解いたしましたので、そこら辺、含めてですね、ちょっと資料修正をさしていただきたいと思います。
2:27:48	規制庁スズキですミヨシ了解ということですのでちょっと時間がなくて退席させ、
2:27:55	します。引き続きですね、
2:27:57	先ほどの24ページのところに戻るんですけど、
2:28:01	24ページの、
2:28:03	当社の実施事項の不
2:28:06	欄の二つ目の矢羽根ここを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:28:09	今日の何か議論に基づいて書き直しますというふうに、最後言われたところから戻りたいんですけど、
2:28:16	ちょっとあれ、私それおかしいなと思っていて、ここは調達プロセス数における、品質の記録として、
2:28:25	何をやったかっていうのが、残らなきゃいけないところで、
2:28:31	先ほど志村さんが、発注者と受注者の関係で、途中設計が、
2:28:38	変わった段階があるので、その辺も含めた上で、
2:28:42	発注者受注者の間において、こういう確認をしていったってことが書いてあること自体は、
2:28:50	駄目なわけじゃなくてむしろそれをちゃんと書いとかなきゃいけないんですね。
2:28:54	で一番重要なのは、結局、去年の11月ぐらいに新燃料敷き詰め
2:29:01	条件を直されて先日、
2:29:04	金曜日に補正が出てきましたけれども、
2:29:07	その設計の状態において最終的に解析結果を決定して、
2:29:14	その妥当性の確認を、最後どういうふうに関西電力として、
2:29:20	受容できるというふうに判断したのかというところが付け足さなければ、本来おかしいと。
2:29:29	思うんですね。そこそこの最後の、今日議論してたその妥当性確認をどういうふうにしたのかという内容なのかっていうところを、
2:29:39	発注先の、
2:29:41	解析者がやっているのではなく、
2:29:44	関西電力がやっているのであれば、関西電力がそういうことをやりましたっていうことを、
2:29:50	ここに入れるべきなんだと思うんですけども、それが、
2:29:55	プロセスの記録、
2:29:57	要するに品質記録になると思うんですが、
2:30:01	書き直しちゃったらこれ改ざんになっちゃうので、
2:30:04	そこはちょっと考えてもらいたいんですけども、いかがですか。
2:30:38	あ、関西電力の福原です。すみませんちょっと私先ほどこの箱のなんか書き換えますっていうふうに申し上げたんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:30:48	ここは書き換えるというふうに受け取られたのは少しちょっとあれなんですけども、何を書くべきなのかっていうところ。
2:30:58	お互いによく合意した上で書くのかなっていうふうに、AAが大事だと思ってまして、ちょっと先ほど話の流れで、杉さんがこういうことを書くべきなのじゃないのかっていうところを私なりにそれを理解すると、今書いてある内容じゃなくて、
2:31:17	先ほど申し上げたように本日の資料の3.2の内容を書いた方がいいのかなということで申し上げたので、そこを変えないように、いただければと思います。その上で、
2:31:36	今日のこの記載は残しつつ、この3.2の内容を書き足す、関西電力が実施した内容。
2:31:46	という意味合いで、ここの付け足すというのがあるべき形じゃないかというのが今都築さんからご提示いただいたご提示というかご意見かなというふうに思ったんですけどもまずその理解で合ってますでしょうか。はい。規制庁鈴木です。私ここをつぶさに見ているわけじゃないし、
2:32:06	関西電力は何やったか知らないので、
2:32:09	私がこう書けっていうものじゃないんですよ。関西電力がやったことを書けばいいだけであって、
2:32:16	過去にあたって、まず一つ目の矢羽根の内容を端的にあらわす内容として、最終的にこれで受容できるっていうふうに確認したつもりです。妥当性確認ができたという。
2:32:30	内容だけを、
2:32:33	抜粋して書かれるんだったら、別にそれは嘘じゃないので、いいですよ。
2:32:39	途中の過程が何かいろいろごちゃごちゃしてて、
2:32:43	最終的にこれで確認したんだっていうところだけ、一つ目の矢羽根に対してこうやっているっていうことが書いてあるだけだったら、
2:32:50	それで十分。
2:32:52	このヒアリング資料としては全然十分だと思っていて、
2:32:55	ただ、
2:32:56	これって、本来作るものは品質記録なので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:33:01	そこはちゃんと関西電力の中で品質記録として、改ざんを要する、改ざんされるような、なされないような仕組みがあって、ちゃんと記録していますっていう状態が、
2:33:13	あるのが前提なので、そこはちょっと履き違えないで欲しいんですけども、私が言いたいことは理解できます。
2:33:26	はい。関西電力の福原です。おっしゃっていただいたことは理解しているつもりです品質記録は当社としてもしっかり残しておりますので、
2:33:41	その部分、わかりましたやったことを、
2:33:48	表の中に落とし、素直に記載すればいいというふうに理解しましたので、
2:33:58	もう一度ちょっとよく考えさせていただきます。やったことっていうのはそれほど多くもないですし捏造改ざんつもりはもちろんサラサラありませんので、
2:34:09	規制庁さんに、このガイドライン、関西電力、藤三石がどういう解析のガイドラインに沿って、こういう実行してきたのかと。
2:34:21	こういうことがわかるように、事実関係を記載させていただきたいというふうに思います。
2:34:26	はい。規制庁鈴木ですそこはお任せしますので、結局、前半の方、この資料の前半の方で、
2:34:35	説明してる内容が、
2:34:37	ここで、この記録の中において、ここで確認した内容を説明し、してるんですよっていう結果になれば、それ以上はとりませんので、よろしくをお願いします。
2:34:50	ちょっとお待ちください。
2:34:52	はい。
2:34:54	すいません、規制庁フカホリです。
2:34:56	品質向上ガイドラインを作った本人として、
2:35:03	言わせてもらおうと、解析結果の3、審査とか検証、つまり妥当性、これ妥当性確認というふうに、
2:35:13	江藤検証と妥当性確認は違うので、ここをまず履き違えないでくださいっていうのが一つあるんですけども。
2:35:20	ここで言わないといけないのは、このSCALEコードっていうやつが、正しいインプットをすると、正しいアウトプットが出てきましたっていうのを書けばいいんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:35:34	というのを書いて、
2:35:36	実際これ、作業は終わっていないので、
2:35:41	当社の実施事項っていうのを幾らでも書いていいんですよ、品質保証として、この業務が終了するまでに、
2:35:51	この
2:35:53	当社の実施事項というのを書いてくださればいいんで、
2:35:58	そういう意味で、改ざんとか何とかではなくて、鈴木審査官も言っている通り、
2:36:06	関電さんがどうやってこの結果に対して妥当性っていうのを考えました。だから、今回の結果はこれでいいんですよっていうのをしっかり書いておいていただければ、
2:36:18	我々は安心して、この結果っていうのを使えるっていうことになります。で、
2:36:25	例えばですね、今回評価した水位0のところとか、満水のところの結果っていうのは、既許可で我々はこのスケールっていうのを使って、
2:36:40	ちょうどいい結果が出ましたっていうのはこれはもう認可済みなわけですよ。つまり、その結果っていうのは使っていいわけですよ。
2:36:49	で、それから、皆さんがどういうインプットをこう変えたので、結果としてはこうなりますっていうのを、
2:36:57	何かのその実験結果と比べてもおんなじでした。ほら同じような傾向を示すので、これは妥当と考えましたとかですね。
2:37:09	また別のもっと詳細なモンテカルロ法となんか比べてもおんなじような答えが出てきたので妥当性を確認しましたっていうのもいいんです。
2:37:20	つまり、妥当性の確認は、別の方法、或いは、それと似たような方法でやっておけばいいっていうのが一つと。
2:37:30	或いは、もう既許可で承認された手法に基づいてやってますっていうのを確認しましたって書いておけば、これは妥当性の確認になります。
2:37:40	ということを、その間違えないように使っていただかないと。
2:37:46	今後その品質保証として我々が、ひよっとしたらチェックしてる ところ、その検査とかなんかだったら、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:37:56	見に行く審査官も出てくる可能性はあるので、しっかりとその書類っていうのは残しておいてください。私からは以上です。
2:38:07	規制庁スズキ最後なん妥当性確認のやり方んところは、フカホリが言ったのは一般論としてそういうやり方が、
2:38:14	あるよっていうことを言ったのであって改めてそこも追加してやれと言ったわけじゃないので、今日の前半のところ、
2:38:21	こういうふうにやろうとやっていますってところで、
2:38:25	足りる足りないってところは、この後の5ポツのまとめのところで、話になると思いますけれども、
2:38:32	改めて何かやれと言ったわけではないのでそこだけ認識を間違えないようにお願いします。
2:38:38	衛藤。
2:38:40	今のフカホリの発言については答えを求めませんので、続けます。
2:38:47	資料の29ページ。
2:38:52	当資料の記載の確認をこれでやっとな最後になります。
2:38:58	3個あってですね。
2:39:00	まず、
2:39:05	2ポツの結果の2行目から3行目について、
2:39:10	今回の基本ケース及び感度開発ケース①から④と同じくっていう記載があるんですけど、
2:39:18	ケース①から④って、
2:39:20	7500とあって、
2:39:23	確認してないと思ったんですけども。
2:39:26	確認したのは基本ケースに対して7500立米パーアワーっていう、
2:39:32	過大な流量について確認しただけだと思うんですけども、まずここ間違いがないかどうか、説明してください。
2:39:44	関西電力新村です。まず今回、その7500という流用に対し、
2:39:50	を用いて、確認したのはおっしゃっていただいた通り、基本ケースのみになります。
2:39:56	で、こちらで書いて感度解析ケース1から4というところも含めて記載しましたのは、今回、実施をいたしました。
2:40:08	基本ケースと感度解析ケースという、これらの評価ケースすべてと、同じような実効増倍率挙動を、この7500、基本ケースに対して7500立米という、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:40:21	流量条件に変えた。
2:40:24	場合の解析ケースでも同じような挙動を示しましたよということ を記載をしたものでございます。
2:40:32	規制庁鈴木ですその最後の言い方は誤解する可能性があるので、
2:40:37	確認したのは、1ポツに書いてある通り基本ケース条件に対して、 流量条件を過大に設定した解析を行って、タイトルの通り、
2:40:46	未臨界性上の頑健性について確認をしたということだと思いま すので、確認した内容だけ書いといていただければ結構かと思いま すので、ここで、感度係数感度解析係数①から④と同じくって いう、
2:41:02	その内、記載は削っていただけないかなと思うんですけど も、削ると説明したいことが、
2:41:12	何かけん、少なくなっちゃうんですけどっていうことでなければ、削 っていただいた方がいいと思うんですがいかがでしょうか。関西 電力志村です。結局、
2:41:23	負けたとしても我々がご説明したい内容に変わりございませんの で、
2:41:30	この、及びから、解析係数に関する記載はちょっと削除させてい ただきたいと考えております。
2:41:38	はい。規制庁杉です。わかりましたじゃ続けて、その文章の続 きなんですけれども、
2:41:44	実効増倍率は水位低下に伴い単調に減少する挙動を示しておりみ りん開発を満足する結果がえられた。
2:41:51	0になっていて、
2:41:53	その次はなお書きなので、結論と関係ないと思ってるんですけ ども、
2:41:58	すいませんここあの頑健性について結論を得ると思っているの で、
2:42:05	以上、
2:42:06	審査会合、
2:42:08	で確認したのは、
2:42:10	7500立米%まで、スイテイカジに実効増倍率が単調減少してい く挙動を示しているの、頑健性があるというふうに、
2:42:20	判断したというふうに説明されたと思っているの、ここでちゃん と頑健性を謳っ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:42:27	説明されないと、審査会合で言った内容とちょっと違うと思うんですけどもいかがでしょうか。
2:42:39	関西電力の志村です。
2:42:43	確かにご指摘の通りですねなお書きにするとこの最後の結論の十分な関係性を有しているというところまでが、結論ではなく、参考みたいな扱いになってしまっているような記載と、
2:42:55	なっております。地図のD、こちらにつきましてはその会合で説明させていただいた通りですね、7500 ということで、比十分大きい流量ということで頑健性十分にありますよというような
2:43:11	流れの記載に改めさしていただきたいと思います。
2:43:14	規制庁都築ですそこは正確に書いてくださいね審査会合のちょっとまだ議事録上がってないので、ユーチューブでもう一度聞き直してもらいたいんですけど。
2:43:25	我々確認した通りの内容を書いていたのでそこをちょっと十分ご注意ください。続いてなお書きなんですけど、
2:43:34	なおがキーは、単純に今言った7500っていうのは、
2:43:39	高浜に配備している放水砲を全部使ったものよりか大きいですよってことを、
2:43:46	参考情報として書いておられるというふうに、
2:43:50	認識するんですけどもそれでよろしいですか。
2:43:56	浅井電力の新村です。その通りでございます。
2:44:00	規制庁都築ですその通り資料を修正してください。
2:44:05	で、記載について確認したいところは以上で、この後
2:44:12	ちょっと全体資料全体的な話に移りたいんですけどもすでに予定から45分。
2:44:19	過ぎてしまっていて、もう少し続けても、
2:44:23	大丈夫かどうかとりあえず、あと30分ぐらい。
2:44:27	続けてもいいかどうか関西電力いかがでしょうか。
2:44:31	はい。関西電力合計でございますよろしくお願いします。
2:44:34	はい規制庁続け数ベースでは続けます。
2:44:38	先ほど来ちょっと言っている、
2:44:41	5ポツのまとめのところですね。
2:44:44	25ページ。
2:44:49	まさにここがこれまで説明されてた、まず妥当性確認は、
2:44:54	この

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:44:55	1段落目の二つの中ポツについて言ってるんです。
2:45:00	それからそれ以外のところは、そのまた書きのところの通り考察であって、
2:45:07	何かしら例えば傾向分析、先ほど言ってた話だと傾向分析みたいなものを、
2:45:13	した内容をまとめていますっていうことで中ポツが四つ並んでるんですけれども、
2:45:19	ちょっと私の印象を、ここからずっと話していきますので、最後まで聞いてください。
2:45:28	まずですね、
2:45:36	同じ資料の、
2:45:45	9 ページ、4 ポツ 1。
2:45:49	両括弧 2、
2:45:51	先ほどの今回評価の実効増倍率の共同のところは、
2:45:57	そもそも中密度、水密度領域の
2:46:01	ような核反応が起こりやすい状態が発現しないというところについて、
2:46:07	ここ本当にこう断定して説明しちゃっていいのかっていうところを少し先ほどこだわって、後に回すと言いましたけれども、
2:46:16	このところがまさに次の 10 ページの第 3 図から第 6 図の、
2:46:22	ところですけども、まず、私の認識としてはですね。
2:46:27	やはり今回の評価においても、
2:46:32	第
2:46:33	2-2 図ですね、7 ページですね。
2:46:40	こういった比較を水位ゼロのときに置いて比較するのであれば、
2:46:46	やっぱり今回の評価の実効増倍率の挙動としても、
2:46:51	10 ページで言う、
2:46:53	第 3 図とか第 4 図、
2:46:55	これは説明があってもいいかなと思っています。
2:46:59	7 ページで言いたいところは、
2:47:04	水位が 0、完全にロスした条件で、
2:47:08	流量をふやしていく。
2:47:09	イコールそれは、
2:47:12	空間平均水ミストが、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:47:15	増えていくのと等価だという、全く1個、同じだと言ってるわけじゃなくて等価だというふうに、
2:47:21	説明をされていて、と説明するのであれば、
2:47:26	まず、
2:47:28	今回の評価においても、X軸は水密度、
2:47:33	Y軸は実効増倍率 $\times y$ の、
2:47:36	関係は変わらないと思っていて、一方で、先ほど来、安井が変化するんですって関西電力さん。
2:47:43	説明してていやそれも今回の解析の着目ポイントで、
2:47:48	そこを、気相と液相ど、分けて、
2:47:53	体系をつくって解析をするというところも出てくるので、その実効増倍率の感度も当然出てきますと、
2:48:00	だからそう考えると、
2:48:02	7ページの第2-2図は、
2:48:05	今回の評価においてもまず、
2:48:07	議論すべきですとか、
2:48:10	水についてはってことなんですけれども、
2:48:13	おそらく、
2:48:15	気相部の、
2:48:17	水密度、
2:48:19	空間平均水密度って書いてありますけど、だから水に関係なく、
2:48:24	気相部分の水密度っていうのを、こういう観点で議論して、
2:48:29	第3軸としてですね、Z軸としてですね、水位変化っていうのが、
2:48:35	我々例えば奥行き方向に、手前が水位0で、奥行きが満水と。
2:48:42	というような3次元的な感度を見るというふうに考えればですね。
2:48:48	例えば、空間平均水密度が基本ケースの、
2:48:54	流用条件に相当する。
2:48:56	数字がありますけれども、
2:48:59	ここが水位0で、水位が上がっていくと、奥行き方向にですねだんだんだんだん実効増倍率上がって行ってそれでコンマ947になるっていう結果がありますので、
2:49:09	これを、
2:49:10	空間平均水密度としてプロットしてる各店これ対0ですので、
2:49:16	それを水をどーっと上がっ上げていくと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:49:19	それぞれについて線図が出てきて、それを見ると、結局3次元局面が発現することに、
2:49:27	なるんですね。
2:49:29	3次元局面において、それはなだらかな、
2:49:33	空間水水ドイ方向にも、
2:49:36	上がっていくし、水に対しても、単純に増加していくっていう、
2:49:42	三次元へ局面というのが現れてくるというふうに私考えますので、
2:49:48	それで説明するっていうのが、本来今回の評価の大きなポイントかなっていうふうに思います。
2:49:56	一方で、
2:49:58	ある程度、
2:49:59	空間気相部の水密度が高い状態で水位が上がってくると。
2:50:05	ピークが、
2:50:06	出てくるところがあると。
2:50:08	これあの確か水が300ミリとか、
2:50:10	ぐらいになると。
2:50:12	流量が9000立米に相当する空間水密度の時には、水が300ミリぐらいでピークが出てくるっていうのを審査会合のときに、
2:50:22	一度説明、説明されているので、多分、
2:50:25	3次元局面の中で、あるところで、
2:50:28	特異点が出てくるような、要するにピークが出てくるような子がポッと出てくるようなところが、
2:50:34	どっかに追加で出てくる。
2:50:36	そういったところは、
2:50:38	今回の実機条件においては、到底そんなところにはいかないんですよ。
2:50:44	いうことをその三次局面の中で説明すれば、
2:50:47	いい話でかつ頑健性も、そのピークがポッと出てこないようななだらかな空間水に対し気相部の水に対しても、対に対してもなだらかに、
2:50:58	事故増倍率が、
2:51:00	上がってく下がっていくっていう局面だけを我々はとらえているんです。
2:51:04	ていうことを言えば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:51:06	いいだけじゃないかなっていうふうに思いました。
2:51:11	続いてですね、
2:51:18	11 ページの、
2:51:21	4.2 の両括弧 1 の中性子スペクトルのところなんですけれども、
2:51:28	13 ページで、
2:51:30	第 8-1 図と第 8-2 図において、
2:51:34	気相部の、
2:51:36	中性子エネルギー、
2:51:39	一足。
2:51:40	密度分布が出ていてこれ結局相対値になっているので、
2:51:48	気相と液相の
2:51:49	中性子束そのものの違いがわからないんですけれども、形だけしかわからないんですけれども、
2:51:57	ここで、
2:51:58	多分重要なのは、
2:52:01	気相部の、
2:52:02	中性子エネルギー則絶対値と、
2:52:06	液相部の中性子束エネルギー、中性子エネルギー則絶対値、
2:52:11	これがある、大体どのエネルギー領域においても、
2:52:17	差がかなり大きくなって、
2:52:19	気相部の、
2:52:21	中性子束そのものが非常に低くて、
2:52:24	中性子利用率は、
2:52:26	案を議論する時には、かなりここ無視で低くて無視できるんじゃないかと要するに、実効増倍率にほとんど効かないんじゃないかと。
2:52:35	そういう説明がなされる。
2:52:39	べきものかなっていうふうに思います。それをすると、
2:52:44	同じ資料の、
2:52:49	4 ページの、
2:52:51	3.1. 1、前提条件の一つ目の中ポツの一番最初のところ、
2:52:58	議論を単純化するために気相部、液相部のみに注目、これは先ほど三好が間違いですよ。
2:53:05	基礎部分にも燃料棒建てますよって言いましたけれども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:53:08	まさにそのことを説明して、結局、気相部が支配的だと。だから、
2:53:14	気相部への中性子の漏れ要するにバックリングで、
2:53:18	家水位低下の傾向を説明できるんだっていうところに繋がるんじゃないかなというふうに、
2:53:23	思いました。
2:53:24	続いてですね。
2:53:38	やはり7ページの第2-2図、
2:53:43	に戻りまして、
2:53:46	結局今回の
2:53:48	解析、基本ケース、
2:53:50	白抜きひし形。
2:53:53	ていうのは、す流量をどこまで上げて議論するかっていうところはありますけれども、
2:53:59	それが、
2:54:01	類似解析③要するに今回新燃料を敷き詰めという条件で、
2:54:08	等、
2:54:10	10ページの、
2:54:12	第3図第3図のように聞こえと同じように、
2:54:17	冠水の状態で水密度だけを変化させたときの、
2:54:22	解析と、
2:54:23	を比較する。それが、
2:54:26	7ページの第2-2図では、
2:54:29	白抜き三角になってますけど、
2:54:31	結局、
2:54:35	空間部の、
2:54:37	水の条件、それから水の配置っていうのを、
2:54:41	従来通り、水密度1オオノモデルでやっていいか。いやそうじゃないでしょう。利益、SEを分けて基礎的層分けて考えるでしょうといったときに、
2:54:52	気相部っていうのは、もうちょっと、
2:54:54	しっかり見ると、液膜みたいな状況になるともっと厳しいんじゃないかとかって議論が、
2:54:59	出てきたんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:55:01	今考えている水量条件の範囲内においては、これは緊急時の頑健性の範囲までということだと思いますけれども、
2:55:09	おいては、結局、それを空間平均水ミストで表現すると。
2:55:15	同じ結果になってるんですけど。
2:55:18	ただ、降らせ方によって、
2:55:20	その瞬間的にとどまる水の量っていうのが、
2:55:25	同じ流量でも、
2:55:27	水水井費用のモデルと、液膜のモデルが違うので、
2:55:32	同じ流量で比較すると、液膜モデルの方が厳しいよねっていうような議論になるだけであってただ、
2:55:39	中性子を減速させるという観点でいうと、
2:55:44	今みたいな水量の条件においては液膜でも水密度一様でも、
2:55:49	結局は、
2:55:51	ほぼほぼ同じような、
2:55:54	議論をするだけになるんですけどことを、
2:55:58	説明してるのが第2-2図かなっていうふうに思いました。
2:56:04	それから、
2:56:09	感度解析ケースと、関西電力書いてますけど、これは我々としては不確かさ。
2:56:16	解析のケース、①から④だと思ってますけど、
2:56:21	じゃあ不確かさ解析ケースだって気相部のね、水の条件、水分配置の条件が、
2:56:29	違うだけなんだから、今の第2-2図2の、
2:56:33	基本ケース。
2:56:36	白抜きひし形のところに、
2:56:38	と同じようなところに、
2:56:41	載せられるんじゃないかなっていうふうに思うわけですよ。
2:56:47	ただ、ちょっと心配なのは、
2:56:50	ケース②のですね、流量が局所に集中する場合、
2:56:55	これはひょっとすると気相の水密度っていうのが、その局所的に空間平均水が非常に高く、
2:57:05	実は、
2:57:07	資料の10ページで言うと、
2:57:10	第4図の真ん中、中水密度領域での中性子挙動っていうのが、
2:57:17	局所的に出てくる可能性が。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:57:20	あるので、
2:57:22	そこに、
2:57:23	ついては、11 ページの両括弧 2、
2:57:28	E A L F の話で、
2:57:31	先ほど
2:57:32	ヤマモトはですね、
2:57:35	言っていたみたいに、E A L F をまず確認しましたんで、
2:57:40	E A L F そのものは、事故増倍率直接関係ないので、
2:57:45	結果的に中性子利用率に効いてくるのであれば先ほど山本言った みたいに断面セキ、
2:57:53	で説明すれば、
2:57:56	ケース②っていうのは、基本ケース、ケース①、ケース③④で妥 当性確認された。
2:58:04	内容に対して若干気相部分の話が、
2:58:08	中性 S P E C T のところで言ったような話にはなっていて、ち よっと違うんです。でもそれについては、
2:58:14	この E A L F で確認して、核分裂断面セキ、
2:58:19	中性子利用率の再々をですね、説明できれば、
2:58:23	理論的には説明し切れるんじゃないかなっていうふうに、
2:58:27	思いました。
2:58:29	ということで、
2:58:37	25 ページの、
2:58:38	5 ポツまとめ。
2:58:41	に戻るんですけど、私が今こういうふうに思いましたっていうと ころを、
2:58:46	まとめればですね。
2:58:48	うん。
2:58:52	水がゼロのところと、満水のところの、
2:58:56	類似解析との比較。
2:58:59	それから、バックリングにより説明。
2:59:02	今言ったような内容を合わせれば、何か全部一通り説明できちゃ う気が。
2:59:08	するので、そうすると何かまた書き以降の何か説明っていうのに 分ける必要は、
2:59:14	なくて、必要なものだけ全部ガッチャンコしちゃえば、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:59:18	済んじゃうんじゃないかなあというふうに思って、関西電力としても、
2:59:24	言わんとしてるところは、本当はそういったところで、結局パーツパーツはほとんどそろってると思ってるので、
2:59:32	何かうまいこと説明できてないだけなんじゃないかなっていうふうに思うんですけど。
2:59:37	ここまで私の意見で、
2:59:41	問いたいのは、関西電力さん、いかがでしょうかねっていうことなんですけど、どうでしょうか。
2:59:51	はい。関西電力の福原です。ご説明ありがとうございました。
3:00:00	おそらく、そんなに考えてることは違っていなくて料理に考えたといいますと、もう素材と材料し、
3:00:11	品数はそろってるんだけどそれをさらにどう並べるかというところ。
3:00:16	ここだけかなというふうに
3:00:18	理解してまして、その並べ方を今松口さん流とあえて言いますけども、
3:00:26	その中で変えてみてはどうかというふうに聞こえたんですけども概ねそういう理解でよろしいか。
3:00:35	規制庁都築です私もそういうつもりでお聞きしましたので、
3:00:39	そういう理解で、ちょっと並べ方を変えた方が、
3:00:44	我々規制庁にとってはわかりやすくなるのかなというふうに思うのであれば、ちょっと資料の構成を見直していただいて、
3:00:54	ちょっと足りない部分がもしあれば、ちょっと付けさしていただくような形で、かつ先ほど三好も言ってたように、
3:01:02	基本は新燃料ですよ。
3:01:04	敷き詰めですよっていうところも、留意した上で、
3:01:08	まとめ直していただければいいかなというふうに思います。
3:01:13	よろしいでしょうか。
3:01:15	関西電力の福原です私ども、当社としましてもですね常々成長さんに対してわかりやすい説明、運営すれば我々説明理解していただけるのかなってのは常に念頭に置いた資料作りをしてきているところではあるんですけども、やはり
3:01:35	ちょっとこの委員会のテーマ内容自体が少し
3:01:41	値的に高度な部分もあってですねうまく

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:01:45	お伝えできていないというところはちょっと私どもとしては賛成かなと思ってますんで今日の資料はですね妥当性確認と、それ以外の考察という形で章立てを分けてですね説明させていただいたんですけども、すいません
3:02:03	先ほど言ったところではあるんですけども、もう一つ、ちょっと鈴木さん流のまとめ方っていうのがですね例えばその目次でいうと、どういった感じになるのかももう一度ちょっと言っていただけるとすごくクリアになるんですけども、よろしいですか。
3:02:21	基本、規制庁スズキです基本的に、
3:02:25	5ポツのまとめで言っている一つ目と二つ目の中ポツっていうのは、
3:02:32	いいと思っていて、
3:02:34	一つ目と二つ目の自由ポツで説明するにあたって、
3:02:39	我々こういうふう考えたよっていうのを説明する時の補強として、
3:02:46	中性子スペクトルの話、EALFの話。
3:02:52	それから、感度解析ケースをどこでどういうふう確認していくかっていうのを、
3:02:58	その中にちりばめていただけたと思うんですけども。
3:03:03	こういう、
3:03:05	言い方で理解できますでしょうか。
3:03:07	そんな、今もうおっしゃっておられるのはこの25ページの5ポツだけの書き方を今おっしゃってるのかそれともここへ来るまでの3ポツ4ポツも含めた書き方構成をいじるっていう話なのかどちらになりますかね。
3:03:27	規制庁鈴木です。
3:03:31	まず、
3:03:33	4ポツ1の、
3:03:36	話ですね。
3:03:38	これは既許可の実効増倍率の共同と今回の実効増倍率の共同を分けて書いてますけど、
3:03:45	まず企業間の実効増倍率の共同は今回の実効増倍率の共同でも、まず同じことをいわんやとしているので、
3:03:53	そこに加えて今回の実効増倍率の共同として水位が変化した時の話だとかっていうのが、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:04:00	3次元的なさ、第3軸として登場してくるんだよっていう、
3:04:05	話が、
3:04:07	あって、それがまず、
3:04:10	全体的な挙動を説明する上での言いたいことだって、
3:04:15	何かその説明がないと多分、いきなり各論に入ってもわかんない と思うんですよね。
3:04:21	それでまずその説明が欲しいと。その上で、
3:04:29	まずは一つは、妥当性確認として、7ページの
3:04:36	3ポツ2ポツ、2ポツ1と3ポツ2ポツ2ポツ2がありますと。
3:04:42	で、その間を結ぶものが、3ポツ、
3:04:46	で説明が、
3:04:49	ありますと、3ポツの前提となるにあたっては、
3:04:53	気相部が支配的だっっていうのを説明するのは、
3:04:58	11ページの4ポツ2の両括弧1ですと、
3:05:03	こういう流れかなあと思うんですけれども。
3:05:07	理解できます。私が私がこういうふうに理解するということ自体 を理解できますか。
3:05:17	3ページ。
3:05:19	関西電力の志村です。
3:05:23	ちょっと認識間違ってたらご指摘をいただければと思うんですけ ど、頼根っことしては、
3:05:31	妥当性確認っていうことで3ポツ、
3:05:36	1と、
3:05:38	3ポツ2の話を、
3:05:44	軸とすると、その中で、例えば3ポツ1.1、
3:05:50	鳥羽散歩といって2で
3:05:55	たとえ、例えばその物理士方程式に基づく見解というところで、
3:06:03	今回その水は1000ミリぐらいのところ、液相が支配的となっ て、さらに水位が低下する等その漏れの影響が大きくなるという ところについては、
3:06:16	4ポツの考察の中にある、EALFの話と関連付けますよねとそう いった
3:06:24	妥当性確認の中身に対してこの考察で考察という形で記載をして いる。
3:06:31	ものを、その中に関連づけて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:06:34	記載をするといいますか。
3:06:37	そういった形でまとめ上げる。
3:06:40	どうぞ。
3:06:43	小貫です構成については、
3:06:46	どういうふうにしていただいてもいいです妥当性確認をするにあたってこういうふうにあつて妥当性確認をしていくというやり方をまず、
3:06:54	説明した上で、ここはこうですここはこうですここはこうですっていうふうにあつて結果を確認したというふうにあつて書いていただいても結構ですし、
3:07:04	不端々にその内、説明を一生懸命差し込んでいただいてもどちらでも結構ですけれども、
3:07:10	3ポツ1と3ポツ2を基本にするよつていうところを、
3:07:15	なぜつていうところが、いきなり9ページで後ろにきちゃうと、
3:07:19	よくわかんないので9ページの説明は、
3:07:22	ある程度全体説明として先にしといてもらいいただけると。
3:07:28	我々としても、順番に読めていいかなつていうふうにあつて思いました。
3:07:33	で、
3:07:35	3ポツ一位の前提は、先ほど、
3:07:42	4ポツ2の両括弧2EALFだつて、
3:07:46	志村さん言われましたけど私はそう思つてなくて、4ポツの両括弧1の、
3:07:50	中性子のエネルギー数、
3:07:52	不足の絶対値の比較で、そこをまず液相が支配的だということをつ、
3:07:58	説明されるからこそ初めて3ポツ1の前提であるつていうところが、
3:08:04	記載は、適正化して欲しいですけど液相が支配的だつていう、だからこそバックリングで説明できるんだつて繋がるんだつて思つています。EALFの話は、
3:08:16	感度解析ケース1、①③④は基本ケースの第2-2の、
3:08:22	第2-2図に乗ると思つてるんですけども、ひょつとすつとケース2は、
3:08:27	乗らない集中ケースですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:08:29	集中係数は載らない可能性があるのでは、
3:08:32	4 ポツ 2 の、
3:08:34	両括弧 2 の E A L F。
3:08:36	中性子利用率という観点で、
3:08:41	核分裂断面セキで説明すれば、
3:08:45	基本ケースに対して、
3:08:48	妥当性確認ができ、できた基本ケースに対して、ケースについては E A L F で、こういう差があるんだよと。
3:08:55	いう説明すに最後んなるのかなっていう。
3:09:00	ここはあくまでも推測なので、第 2-2 図に乗っちゃえばもうそれで終わりだと思うんですけども、
3:09:05	乗らなければその E A L F。
3:09:08	に基づいて、
3:09:09	核分裂断面セキの違いで忠節利用率が変わる気相部分で変わってくるので、
3:09:16	その違いで説明すればいいのかなって気がするんですけどいかがですか。
3:09:21	理解できましたが私が言いたいこと。
3:09:27	関西電力の志村です。
3:09:30	一応流れとしては理解いたしましたので、ちょっとそちらの流れで記載できるかも含めて資料の構成等の見直しを、
3:09:42	図って参りたいと思います。
3:09:44	関西電力のフクハラ
3:09:46	今浅見さんからご説明いただいた内容で、少し新しい材料っていうかネタとしてやっぱり
3:09:56	3 時空ですね X Y Z で横軸、
3:10:01	マゼット事故は、実効増倍率として運営。
3:10:05	例年、
3:10:07	水密度透水を、は
3:10:13	重ね書きするような形のグラフを用意するところがある一つみそかなあとと思ってそれであればそれをそれを
3:10:23	基にしていっぱいしゃべるじゃんというふうにご指摘いただいたというふうに理解していますので、ちょっとまずはそれを作ってみて、そこを起点にいろいろ論旨を展開していくと、
3:10:39	いうところですね。おそらく書いてある内容は順番バラバラで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:10:47	とりあえず、どっかには書いてあるよっていう形にするんじゃないくて、ちゃんと前から読んでいて、ああいう形になって、わかるように並べてくださいと、そういうふう理解了したので、一応その形でちょっと作ってみたいと思います。
3:11:07	規制庁鈴木です。よろしくお願ひします。ちょっとお待ちください。
3:11:36	規制庁都築です。まず資料直していただいて資料確認したいので、
3:11:43	そこ農直Cについて、
3:11:47	結構いろいろ、
3:11:49	構成変更だとかってされるので、
3:11:52	そこそこ時間かかるかなあとしますのでいつごろ出せそうかっていうところは、担当の具窓口として東京支社さんの方から、
3:12:01	まず言っていたきたいなというふうになります。
3:12:06	まず下、解析結果の妥当性確認と頑健性の説明資料の話は、
3:12:11	以上にしたいんですけども先週の日曜日 13 日金曜日に、
3:12:16	新燃料費キツ名の解析に基づいた設計、
3:12:22	についての補正が、
3:12:24	出てきました。ちょっと次回、その補正の内容を含めて、説明をしてもらいたいんですけども。
3:12:33	ちょっとだけその時にせちゃんと説明して欲しいなっていうことだけ、先に言っておきます。
3:12:45	各電力の志村です。ありがとうございますよろしくお願ひします。はい、えっとですね、本文の
3:12:52	午後、
3:12:53	2 の両括弧 2 の、
3:12:56	アラビア数字両括弧 2、ローマ数字両括弧 2 ポツ、
3:13:02	のところで、
3:13:03	最後のあたりですね。
3:13:07	既許可においては、臨界にならないように配慮したラック形状燃料配置。
3:13:15	及び制御棒クラスター
3:13:17	をんちゃらかんちゃらで、
3:13:20	スプレイや蒸気条件においても臨界を防止できる設計としてるってことで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:13:26	等 10 静止。
3:13:31	吸収体、そうして中性子吸収体ですねこれ消えますと。
3:13:35	そこは理解してますんで、
3:13:37	ラック形状とか燃料配置においては残って、そのあとに、使用済み燃料長槽の冷却等のための
3:13:47	手順等で想定される注水及びスプレイや蒸気条件においても、
3:13:52	ていうふうな、
3:13:54	続きになってるんですけど補正が、ここの、
3:13:58	手順等で想定されるは、
3:14:01	注水スプレイ蒸気条件どこにかかっているのかが、
3:14:06	接続詞が及びとかいやーっていうのは何か混在してて、よくわかんないので、そこをちゃんと説明してください。
3:14:14	順列がどうなってるのか、想定される手順はどこに、手順等で想定されるってのはどこにかかっているのか。
3:14:22	その順列を明確に説明をしてください。
3:14:25	それから、今言ったところで、燃料配置ってこれ変わってないんですよね。
3:14:31	取られ、削除されてないので、
3:14:35	ただですね。
3:14:36	ええ。
3:14:37	藤。
3:14:40	その燃料配置について、
3:14:43	一方テンパチの 4 章の、
3:14:47	4. 1. 2. 。
3:14:50	1、
3:14:57	ですね、概要のところですね。
3:15:00	そこで燃料配置の説明があるんですけど、もともと燃料配置については、
3:15:08	燃料の初期濃縮度燃焼度、それから中性子吸収材の有無の条件、
3:15:14	による貯蔵領域を設定してっていうところで、
3:15:20	説明されていたんですけども、
3:15:24	燃焼度
3:15:26	新燃料を敷き詰めなった地震燃焼度なくなったそれから中性子吸収体もなくなった。
3:15:31	わかるんですけど、燃料の初期濃縮度が消えちゃってて、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:15:36	燃料配置については最も反応度高い新燃料がすべてのレックにラックに貯蔵された状態で評価するって書いてあるんですけど。
3:15:44	そもそも
3:15:46	初期濃縮度の話が、これ消えちゃうと、
3:15:50	今日の説明資料の6ページにもあるんですけども、
3:15:54	6ページの表で、
3:15:57	まず初期濃縮度として認められているのは、
3:16:01	公称値として●●(非開示情報)%。
3:16:03	多分設計限界として●●(非開示情報)%だと思いますけれども、
3:16:08	それに戻っちゃうって読めちゃうのかなと思っていて、いやもともと新規制のときの50条2項としては、
3:16:17	いや濃縮度も現実的に見るんです。
3:16:20	●●(非開示情報)%の数字言っちゃいけなかったらごめんなさい。
3:16:23	そこは後で。
3:16:25	とときますけど、現実的な濃縮度、
3:16:29	びびるんだって言ってて書いてたはずだったんですけども、今回原発でそれが消えちゃってるので、
3:16:36	公称値、或いは設計限界値。
3:16:40	で、濃縮度が上がっちゃう。
3:16:43	ふうに見えちゃうので、
3:16:45	ちょっとそこを何を意図してそうしているのかってところを、ちゃんと説明をして欲しいなと思いますので、これ次回次回、
3:16:53	説明してくださいということで先にお伝えしておきます。
3:16:59	次回はその補正の内容を説明していただくのと、それ以外に許可の審査においては、
3:17:07	核燃料物資の調達平和利用、それから経理的基礎、
3:17:14	a. 5の技術的能力等、あと品質、
3:17:19	計画でしたかね。
3:17:22	これらを一応説明していただくことになってて一応
3:17:25	説明資料は、13日金曜日に、
3:17:29	お渡しいただいたのでそこは一通り説明を聞きたいと思いますので、そこも説明を次回、
3:17:36	お願いしたいと思いますんで、
3:17:38	もし、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:17:40	今日の資料のす、修正版で、
3:17:45	何かちょっとここまだよくわかんないねとかっていうところがあったら、追加で聞くかもしれませんがまずそれは、資料出てきてから、
3:17:53	考えますので、
3:17:56	そこんところはまだちょっと予定は、
3:17:58	外しておこうかなと思います。次回はそんな感じで。
3:18:03	やりたいと思いますので、先ほど言ったんす。
3:18:08	いつ頃、
3:18:09	今日の資料、
3:18:11	の修正版が出てくるか。
3:18:13	アレンジしたいと思いますのでそこ、そこもまた窓口として、
3:18:19	調整をしていただければなと思いますけれども、関西電力さんよろしいでしょうか。
3:18:27	はい反対電力了解いたしましたユーザー日の補正で、6人になってん箇所ですねここはまた改めてご説明させていただきます。そうしますと次のヒアリングは今日の資料を修正したやつをお出ししてそれと含めて、
3:18:46	先ほどの補正の内容プラス、その他添付書類イシイキーを、ヒアリング事実確認を受けるという形になるということによろしいですかね。
3:19:04	規制庁鈴木です。
3:19:07	その方が、
3:19:09	安全かなと思っていまして、なんでかっていうと
3:19:13	設置変更許可の、
3:19:15	手続きですので、審査会合と審査会合の間には、
3:19:20	ヒアリングは原則2回債、最大でも3回しかできませんので、
3:19:26	基本的に次が最後のヒアリング。
3:19:29	そこで解決しなかったら、
3:19:32	原則としてはまたもう1回審査会合をやらなきゃいけなくなっちゃうので、
3:19:38	資料の表の修正が、地震があって大丈夫ですっていうことであれば、
3:19:44	先にさっき言ったヒアリングやってから出てきても構わないんですけれども、そこは関西電力にお任せします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:19:51	私からは以上ですけどよろしいでしょうか。
3:19:54	はい。関西電力福原です。それで結構です。
3:20:00	こちらから、まず、技術的に確認したいところは以上ですけども関西電力として、
3:20:07	その他何か説明しておきたいとか、確認しておきたいことがありますでしょうか。
3:20:16	はい、関西電力から特にございません。
3:20:21	はい。すいません規制庁の関です。一応今日お話した点については大分丁寧に、
3:20:30	お互い話ができたとお思いますのでぜひ仕上げさせていただきようお願いします。あとスズキから最後ちょっと申し上げてましたけれども、申し上げましたけど、
3:20:40	私自身も前回の審査会合でこれは基本的には議論は進んでいたと事実確認ベースだよねということで、前回閉じてますけれども、その前提は、
3:20:52	適切な期間内に、事実確認が終わること、それから適切なヒアリング回数で終わることっていうのが前提でありますので、
3:21:04	その前提のもと、今日お話。
3:21:09	着事実確認をして共通理解になったところについては、きちんと反映をして、仕上げさせていただきたいというふうに考えておりますのでよろしくをお願いします。私から以上です。
3:21:23	はい、了解いたしました。規制庁スズキでちょっと移転忘れていて、
3:21:28	前回の審査会合の冒頭でセキからですね、冷や審査会合の資料の1-2。
3:21:36	これについては、
3:21:37	審査会合の中で確認できるほど、
3:21:43	資料提出時期から、ちょっと時間がなくて見れないので、これについては改めて確認しておきますで終わっていたと思いますけれども、
3:21:53	内容としては今日のヒアリング資料において内容を、一応一通り、
3:21:58	作り直して、確認できたかなと思いますので、そのセキセキの発言した内容は今日のヒアリングをもってかえさせて、
3:22:10	いただくことになるかと思います。あと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

3:22:13	それでよろしいですよね関西電力としては、電力オカハラです。ありがとうございます。よろしくお願いします。よろしくお願いします。はい。規制庁鈴木ですでは一通りこちらも議論が出尽くして関西電力も、
3:22:27	特段他にはないということでしたので今日のヒアリングはこれで終了したいと思います。ありがとうございました。
3:22:34	はい、ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。